

平成 30 年度第 1 回理事会 議事録

日 時：平成 30 年 4 月 4 日（水）18：30～21：00
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：梶山、藤田、中根、夏目、森田、中井、佐野、牛田、山田、堤、
鈴木、郡司、矢田、南里、片山、白石、井上、神谷、松本監事、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：所、内田、菊地
理事定数：21 名
出席理事数：18 名
議 長：梶山広美
書 記：神谷秀典
議事録署名人：梶山広美、松本祐之、山崎正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから、議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

3 月 7 日 第 12 回理事会

◎梶山、藤田、所、夏目、森田、中井、佐野、牛田、山田、内田、菊地、堤、
鈴木、矢田、南里、片山、白石、井上、神谷、松本監事、山崎監事

3 月 15 日 第 3 回学術部会

◎中井、所、鈴木、郡司

3 月 17 日 平成 29 年度精度管理調査報告会および特別講演会

◎佐野、梶山、藤田、所、中根、夏目、森田、中井、内田、鈴木、片山、神谷

3 月 28 日 第 11 回執行理事会

◎梶山、藤田、所

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 11 回執行理事会報告

藤田副会長より 3 月 28 日に開催された第 11 回執行理事会について報告があった。協議事項として理事会の審議事項について確認を行った。多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の開催について開催日候補の確認をした。初級職能と県ニューリーダー育成に管理運営も含めて階層別研修会とし合同開催にしてはどうかとの提案があり、理事会に諮ることとした。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

① 庶務部

3 月 12 日 平成 29 年度愛知県臨床検査精度管理調査総括集を発送した。

3 月 12 日 8 月に開催される日本臨床一般検査学会後援承諾書と第 16 回スキルアップ講習会后援承諾書を発行し、発送した。

- 3月 12日 平成30・31年度岡崎市精度管理専門委員の回答書を発行し、発送した。
- 3月 12日 4月に開催される生殖医学検査研究班講演会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 3月 12日 4月に開催される微生物検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 3月 23日 5月に開催される平成30年度新人サポート研修会の実務委員委嘱状と講師依頼状を発行し、発送した。
- 3月 29日 平成30年度事業計画を県に提出した。

② 会計部

森田会計部長より活動状況の報告があった。地区活動、学術部とも平成29年度の事業はすべて執行された。

(2) 学術部門

① 学術部

3月 15日 第3回学術部会を開催した。(参加：13名)

② 精度管理事業部

佐野精度管理事業部長より以下の報告があった。3月17日(土)名古屋第一赤十字病院内ケ島講堂にて、平成29年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会を開催した。175名(会員165名、賛助会員10名)と大勢の参加があり、各部門からポイントを絞った報告を行なった。

会員からの感想をらぼニュースに載せることとした。

平成29年度精度管理事業部の各部門における予算執行率について説明があった。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張東地区

3月 13日 第6回地区運営会議を開催した。(参加：7施設8名)

3月 13日 地区懇親会を開催した。(参加：7施設10名)

● 尾張南地区

3月 20日 第6回地区運営会議を開催した。(参加：6施設8名)

● 東三河地区

3月 13日 病理・細胞診勉強会を開催した。(参加：9名)

3月 15日 第6回地区運営会議を開催した。(参加：9施設11名)

② 広報部

4月 1日 「らぼニュース No.433」(4月号)を3,500部発行した。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

山田広報部長より以下の報告があった。平成29年度第2回HP運営委員会会議議事録(案)の提出があった。ホームページ更新歴については以下の通りである。

- 2月 14日 がんゲノム医療コーディネーター取得に向けた講習会の掲載
- 2月 24日 らぼニュース3月号の予約掲載
- 2月 24日 学術からのお知らせの掲載
- 2月 24日 フレッシュセミナー2018の掲載
- 2月 24日 第3回ラボラトリーセミナーのカレンダー掲載
- 2月 27日 生理検査研究班 2月活動報告の掲載
- 2月 28日 輸血検査研究班 2月活動報告の掲載
- 3月 1日 生殖医学検査研究班 4月講演会の掲載

- 3月 1日 遺伝子検査研究班 1月と2月活動報告の掲載
- 3月 3日 県学会バナー作成と追加
- 3月 3日 県学会 HP の作成（非公開）
- 3月 4日 血液検査研究班 2月活動報告の掲載
- 3月 4日 生物化学分析検査研究班 2月活動報告の掲載
- 3月 6日 生殖医学検査研究班 2月合同研究会活動報告の掲載
- 3月 7日 病理細胞検査研究班 2月研修会活動報告の掲載
- 3月 9日 微生物検査研究班 4月研究会、2月研究会活動報告の掲載
- 3月 9日 生殖医学検査研究班 活動計画の掲載
- 3月10日 血液検査研究班 11月研究会、1月基礎講座アンケート掲載

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

3月13日（火）に AiCCLS 第4回実務委員会調整会議開催した。内容は次回理事会提出予定発行物の臨床化学検査部門、一般検査部門の編集を中心に審議した。また、3月27日（火）に AiCCLS 第3回実務委員会を開催した。平成29年度活動報告、平成29年度会計報告、平成30年度事業計画・予算案を中心に審議した。

6. 第18回愛知県医学検査学会第7回実行委員会報告

尾張北・矢田理事より以下の報告があった。3月15日（木）に開催した（参加：9施設13名、オブザーバー1名）。広告掲載会社が60社見込んだものの48社となった。印刷費は紙質で調整する。デジタルカメラによる記録については当日撮影するが広報部と調整していく。懇親会横断幕について「第18回愛知県医学検査学会 祝賀会・懇親会」とし、ロゴを入れる。ホームページに県学会バナーをアップいただいた。抄録完成後、順次掲載していく。

7. 日本臨床衛生検査技師会報告

楢山会長より3月24日に開催された理事会報告があった。

①検体採取講習会は、愛知県2,230名（69.2%）の取得率である。平成30年度愛知県では5月26-27、7月21-22、9月8-9日の3回を予定している。②「カンボジアにおける臨床検査の質の向上事業」について③全国学会の会期、会場について④出版 教本名の変更について⑤「臨床検査技師のための在宅医療の推進」の開催について⑥当会「入会のご案内」の発送について⑦日臨技学生表彰 会長賞の承認について⑧永年職務精励者表彰の副賞の変更について⑨精度管理事業規程細則の一部改訂について

8. その他の報告事項

- (1) 第36回東三河地区研究会生涯教育研修申請について
夏目庶務部長より第36回東三河地区研究会生涯教育研修申請について報告があった。
- (2) 日臨技中部圏支部医学検査学会のシンポジスト選任について
楢山会長より日臨技中部圏支部医学検査学会のシンポジスト選任について報告があった。
- (3) 平成30・31年度日臨技選挙管理委員の選任について
楢山会長より、平成30・31年度日臨技選挙管理委員の選任について報告があった。
- (4) フレッシュセミナー2018について
中根副会長より、フレッシュセミナーの参加を呼び掛けてほしいとお願いがあった。

Ⅲ. 協議事項

1. 平成29年度事業報告について

夏目庶務部長より、平成29年度事業報告について追加があり、これらの内容を平成30年度定時総会議案書の中で確認し全員一致で承認した。平成30年度定時総会議案書をこれらの内容で仮

入稿することとする。

2. 微生物検査研究班 平成 29 年度活動費の追加支給について
中井学術部長より以下の提案があった。班会議の活動費、基礎講座の活動費の不足部の未払い分を支給するために、活動費が不足したため追加の支給を受けた。これを確認し全員一致で承認した。
3. 平成 30・31 年度 各委員会委員、各部部員、研究班班員の選任について
藤田副会長より、平成 30・31 年度 各委員会委員、各部部員、研究班班員の選任についての提案があった。病理細胞、生理検査研究班班員の定数を越えていることについて中井学術部長より説明があり、これを確認し全員一致で承認した。
4. 平成 30・31 年度の研究会班長・旧班長のサイボウズの取り扱いについて
中井学術部長より平成 30・31 年度の研究会班長のサイボウズ登録と旧班長のサイボウズ使用許可について提案があった。これを確認し全員一致で承認した。
5. 平成 30 年度一般検査研究班 研究会の共催申請依頼について
中井学術部長より、平成 30 年度一般検査研究班 研究会の共催申請依頼についての提案があった。今回は共催を認めるが、前例がないため学術部の中で研究会の共催について検討していただき素案を出してもらおう事で、これを確認し全員一致で承認した。
6. 精度管理データの使用について
 - (1) 佐野精度管理事業部長より、講師依頼（病理部門）派遣の依頼と講演に愛臨技の精度管理データを使用したいと提案があった。これを確認し全員一致で承認した。
 - (2) 学会発表（免疫血清部門）について
佐野精度管理事業部長より以下の学会発表の内容の提案があった。8 月に名古屋国際会議場で開催される第 58 回日本臨床化学会年次学術集会において、平成 29 年度愛臨技サーベイで参考調査として実施した PIVKA の調査結果より、PIVKA 測定値の現状（メーカー間差、機種間差など）について報告してよいかという提案があった。これを確認し全員一致で承認した。
7. らばニュース 5 月号掲載内容について
山田広報部長より、以下の提案があった。
巻頭言 平成 30 年度 定時総会の開催にあたって（庶務部長）
平成 29 年度精度管理調査報告会および特別講演会開催報告
平成 29 年度認知症対応力向上講習会 B を開催して
尾張北地区研修会に参加して
地区だより（知多地区）
基礎講座 輸血検査研究班
研究会（一般検査研究班）
AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信（第 52 回）
以上の内容に第 66 回糖尿病療養指導研究会学術講演会開催の案内を掲載することとし、これらの内容を確認し、全員一致で承認した。
8. 第 18 回愛知県医学検査学会について
尾張北・矢田理事より以下の提案があった。第一会場は定員 240 名である。広報誌に一般参加者、先着順 240 名と掲載することに、これを確認し全員一致で承認した。また、勝川駅を利用する高校生に養成校ガイダンス参加斡旋のピラ配りについて提案があり、許可が得られれば配布可能であり、ピラの内容については再度検討していただくこととして全員一致で承認した。
9. 第 18 回愛知県医学検査学会 祝賀会・懇親会について

中根副会長より、第 18 回愛知県医学検査学会 祝賀会・懇親会について、事前申し込みとする提案があり、これを確認し全員一致で承認した。

10. 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会開催について
鈴木理事・梶山会長より、日臨技から届いた実施要領に基づき 600 分以上となるようカリキュラムを設定し実行委員会を立ち上げる提案があり、これを確認し全員一致で承認した。
11. 管理運営アンケートの報告書について
牛田部長より、管理運営アンケートの報告書について提案があった。これらを確認し意見があれば部長に連絡することとして、全員一致で承認した。
12. 初級職能・県ニューリーダー・管理運営の各研修会合同開催について
梶山会長より初級職能、県ニューリーダー、管理運営の各研修会合同開催についての提案があった。階層別研修会とし合同開催することで、これを確認し全員一致で承認した。
13. その他
 - (1) 豊橋市精度管理専門委員の推薦について
夏目庶務部長より、豊橋市精度管理専門委の推薦依頼が届いていることの説明があった。現在の委員からは規定に則り継続して引き受けてもらえる承諾を得られたため、平成 30 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までの委員として推薦することを、全員一致で承認した。
 - (2) 第 66 回愛知県糖尿病療養指導研究会学術講演会の生涯教育申請について
夏目庶務部長より、第 66 回愛知県糖尿病療養指導研究会学術講演会の生涯教育申請についての提案があり、これを確認し全員一致で承認した。

IV. 新入会審査

- (1) 夏目庶務部長から東京都から愛知県に転居される方が都臨技に入会したまま愛臨技にも入会したいとの事例があり入会審査を行った。これを確認し全員一致で承認した。
21 名の新入会の審議を行い、入会を承認した。

V. 連絡事項

- (1) 黒住医学研究振興財団より平成 30 年度研究助成のご案内
夏目庶務部長より黒住医学研究振興財団より平成 30 年度研究助成の案内があった。
- (2) 黒住医学研究振興財団より受賞者決定のお知らせ
夏目庶務部長より黒住医学研究振興財団より受賞者決定のお知らせがあった

平成 30 年 5 月 2 日

議 長：梶山 広美 

議事録署名人：松本 祐之 

議事録署名人：山崎 正夫 

平成 30 年度第 2 回理事会 議事録

日 時：平成 30 年 5 月 2 日（水）18：30～21：05
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：梶山、藤田、所、中根、夏目、森田、中井、佐野、牛田、山田、内田、菊地、堤、
鈴木、矢田、南里、片山、白石、井上、神谷
陪 席：なし
欠 席：郡司、山崎監事、松本監事
理事定数：21 名
出席理事数：20 名
議 長：梶山広美
書 記：夏目久美子
議事録署名人：梶山広美

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから、議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

4 月 4 日 第 1 回理事会

◎梶山、藤田、中根、夏目、森田、中井、佐野、牛田、山田、堤、
鈴木、郡司、矢田、南里、片山、白石、井上、神谷、松本監事、山崎監事

4 月 10 日 第 1 回精度管理事業部事務局会議

◎佐野、所、菊地

4 月 17 日 第 1 回精度管理事業部会

◎佐野、所、菊地

4 月 22 日 フレッシュセミナー 2018

◎中根、梶山、藤田、所、鈴木、南里、矢田、井上、牛田

4 月 22 日 第 1 回多職種連携講習会企画会議

◎鈴木、梶山、所、藤田、中根、内田

4 月 25 日 平成 29 年度会計監査

◎山崎監事、松本監事、梶山、森田、藤田、夏目、中根、所

4 月 25 日 執行理事会

◎梶山、藤田、所、中根、森田

4 月 28 日 研究班班員セミナー

◎中井、藤田、所、鈴木、内田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 1 回執行理事会報告

藤田副会長より 4 月 25 日に開催された第 1 回執行理事会について報告があった。第 2 回理事会審議事項の内容確認と会計監査における幹事指摘事項への対応、中部圏支部医学検査学会のシンポジスト推薦、初級職能・ニューリーダー・管理運営の合同研修会開催概要について協議した。

- (2) 梶山会長
4月8日 第30回日本医学会総会2019中部の会場打ち合わせに参加した。(ポートメッセなごや)
4月25日 愛知県健康福祉部にて年度初めの挨拶を行った。
- (3) 藤田副会長
4月8日 第30回日本医学会総会2019中部の会場打ち合わせに参加した。(ポートメッセなごや)
- (4) 所副会長
4月25日 愛知県健康福祉部にて年度初めの挨拶を行った。
- (5) 中根副会長
4月8日 第30回日本医学会総会2019中部の会場打ち合わせに参加した。(ポートメッセなごや)
4月25日 愛知県健康福祉部にて年度初めの挨拶を行った。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

4月25日に愛臨技事務所にて平成29年度会計監査を行った。昨年度の指摘事項について改善が認められ確認しやすい帳簿になっていたことと、今年度の指摘事項について梶山会長より説明があった。

① 庶務部

- 4月 2日 日臨技に当会の役員改選時期について回答した。
4月 2日 らぼニュース4月号を発送した。
4月 4日 永年職務精励者表彰・功労者表彰の受賞者への定時総会表彰式出席依頼・祝賀会招待状66件を発行し、発送した。
4月 4日 名誉会員への定時総会出席依頼状5件を発行し、発送した。
4月 4日 平成30年度定時総会役員に案内状13件を発送した。
4月 6日 平成30年度定時総会議案書を仮入稿した。
4月 7日 医歯薬出版の学会案内アンケートに回答した。
4月10日 5月に開催される病理細胞検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
4月10日 組織部委員のサイボウズ登録を行った。
4月10日 基幹施設小委員会のサイボウズ登録を行った。
4月10日 精度管理事業部員のサイボウズ登録を行った。
4月11日 学術部研究班班員のサイボウズ登録を行った。
4月11日 平成30・31年度学術部研究班班員に委嘱状を発行し、発送した。
4月11日 平成30・31年度基幹施設小委員会委員に委嘱状を発行し、発送した。
4月11日 平成30・31年度精度管理事業部委員に委嘱状を発行し、発送した。
4月11日 平成30・31年度HP運営委員会委員に委嘱状を発行し、発送した。
4月12日 平成30・31年度組織部部員に委嘱状を発行し、発送した。
4月13日 平成30・31年度学術部委員に委嘱状を発行し、発送した。
4月16日 平成30・31年度豊橋市精度管理専門委員の回答書を発行し、発送した。
4月24日 平成30・31年度学術部研究班班員委嘱状を再発行し、発送した。(3名分)
4月24日 7月に開催される第36回東三河地区研究会の講師依頼状&マイナンバー書類を発行し、発送した。

② 会計部

森田会計部長より新年度に入り、地区、学術部とも事業が開始していると報告があった。

(2) 学術部門

① 学術部

中井学術部長より、以下の報告があった。

- 1) 学術部サイボウズへの班長の招待および、各研究班サイボウズへの新規班員の招待を庶務部へ依頼した。昨年度で退任する班員については4月30日でメンバーから削除する。
- 2) 4月28日(土)13:30~17:00アーバンネット名古屋ビル20階(リップルスクエア)において、班員セミナーを開催した。(参加:平成30・31年度研究班班長、副班長、会計、生涯教育、HPの各担当班員の41名、HP委員4名、理事5名の計50名)
公益社団法人としての技師会の在り方、組織図、研究班の位置付けと役割、技師会年間スケジュール、学術部運用マニュアル、会計処理方法、研究班HPのメンテナンスについて解説と指導を行った。

② 精度管理事業部

佐野精度管理事業部長より以下の報告があった。4月10日に第1回精度管理事務局会議を開催した。4月17日に第1回精度管理事業部会を開催した。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張西地区

4月13日 第1回地区運営会議を開催した。(参加:11施設12名)

● 知多地区

4月19日 第1回地区運営会議を開催した(参加:6施設11名)

② 組織部

中根副会長より4月22日にアーバンネット名古屋ビル20階リップルスクエで開催された「フレッシュセミナー2018」の開催報告があった。参加者:会員74名、実務委員・役員11名、講師4名。らぼニュース原稿を確認した。

③ 広報部

山田広報部長より以下の報告があった。5月1日「らぼニュースNo.434」(5月号)を3,500部発行した。らぼニュース5月号において6月開催の輸血検査研究班研究会が非掲載であったため、別刷をらぼニュース5月号に同封した。

4. 各委員会報告

(1) 山田広報部長よりホームページ更新歴について以下の報告があった。

- | | |
|-------|------------------------------------------|
| 4月1日 | 新人サポート・世界禁煙・VCT掲載 |
| 4月1日 | 県学会各リンク設定と本HP公開 |
| 4月2日 | 病理細胞検査研究班 平成29年度活動報告まとめの掲載 |
| 4月4日 | 遺伝子検査研究班 平成29年度活動報告まとめの掲載 |
| 4月4日 | 生理検査研究班 平成29年度活動報告まとめの掲載 |
| 4月5日 | 血液検査研究班 5月研究会とカレンダー、
平成29年度活動報告まとめの掲載 |
| 4月6日 | 微生物検査研究班 平成29年度活動報告まとめの掲載 |
| 4月6日 | 病理細胞検査研究班 平成29年度活動報告まとめの掲載 |
| 4月9日 | 生殖医学検査研究班 平成29年度活動報告まとめの掲載 |
| 4月13日 | 基幹施設と施設名検索の更新 |
| 4月16日 | 平成29年度精度管理総括とスライド掲載 |

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告
内田理事より4月24日(火)に開催された平成30年度AiCCLS第1回実務委員会調整会議について報告があった。新役員選任、各部門予算案の確認、次回理事会(平成30年7月6日(金))提出予定発行物である一般検査部門、生物化学検査部門について審議した。5月17日に実務委員会を予定している。
6. 第18回愛知県医学検査学会について
尾張北・矢田理事より5月9日に第7回実行委員会を開催する予定であると報告があった。抄録は発送済みであり、最終調整、動線の確認、参加者の斡旋、垂れ幕等の確認を行っていく。
7. 多職種連携講習会の企画会議報告
鈴木理事より4月22日に開催された多職種連携講習会の企画会議について報告があった。講習会開催のために必要な概要、スケジュール、カリキュラム等運営に関する検討した。
8. 日臨技中部圏支部医学検査学会について
梶山会長より、11月に開催予定の日臨技中部圏支部医学検査学会にて企画されるシンポジウムで、愛臨技の担当分として「検査説明」の追加依頼があったと報告があった。
9. 日本臨床衛生検査技師会報告
梶山会長より以下の報告があった。6月23日に日臨技定時総会が開催される。役員改選・平成29年度決算を行う総会である。出席されない方は必ず電磁的方法で委任をお願いしたい。また、5月12.13日に開催される第67回日本医学検査学会では、基調講演・学会式典への出席されるよう依頼があった。

Ⅲ. 協議事項

1. 第1回理事会の議事録(案)の確認について
夏目庶務部長より、第1回理事会の議事録(案)の提案があり、これを確認し全員一致で承認した。
2. 平成29年度決算報告(案)について
森田会計部長より平成29年度決算報告について、前年度との大きな差額は学会の開催の有無であったと説明があった。これらを確認し、この平成29年度決算報告を平成30年度定時総会の決議事項に挙げることを全員一致で承認した。
3. 微生物検査研究班班員の追加について
中井学術部長より、以下の説明と提案があった。4月理事会終了後に技師会宛の微生物検査研究班への班員応募のメールが事務所の通信の不具合により受信できていなかったことが発覚した。送信履歴を確認し、班員応募期限内のメール送信であったこと、また研究会への積極的な参加状況等も確認でき、研究班からも班員としての活動を希望しているため追加の承認をいただきたいと、提案があった。これらを確認し、全員一致で承認した。
4. 血液試料変更に伴う、試料代の増額について
佐野精度管理事業部長より、以下の説明と提案があった。これまで愛臨技精度管理調査における血液検査部門の調査は、加工血試料とヒト新鮮血試料を用いて実施してきたが、本年1月に(一社)日本臨床検査薬協会から「外部精度管理調査実施時における参考値提供依頼に関するお願いについて」が提出されたことにより、ヒト新鮮血試料の使用を控えるとの方針が出されたため、配布試料の見直しを行い加工血試料のみの使用に変更したい。これに伴い、血液サーベイ試料代の増額についての許可をお願いしたい。これらを確認し、全員一致で承認した。
5. 平成29年度管理運営アンケート集計結果について
牛田組織部長より、平成29年度管理運営アンケート集計結果について会誌らばに掲載する現行

の提案があった。これを確認し、全員一致で承認した。

6. 第 18 回愛知県医学検査学会について

尾張北・矢田理事より、県学会懇親会の余興についてマジックショーが可能であれば依頼したいが、予算が少ないため飲み物、食べ物の量が不足する懸念もあり、三味線の余興を予定したいと提案があった。これを確認し、全員一致で承認した。

7. 検体採取シミュレーター貸出申請書について

鈴木理事より、多職種連携講習会に用いる予定の「検体採取シミュレーター」の貸出を日臨技より受ける申請について、講習会の企画がすべて決定していない時点ではあるが、シミュレーターの台数が少ないため先行して申請しておきたい、と提案があった。これを確認し、全員一致で承認した。

8. その他

(1) 施設使用願い、生理検査画像資料提供依頼（精度管理事業部）について

佐野精度管理事業部長より、愛臨技精度管理調査の細胞検査部門の設問作成のための施設使用願いと、生理検査部門の設問作成のための画像資料提供依頼について提案があった。これらを確認し、全員一致で承認した。

(2) 6月号らぼニュース 平成 30 年度 愛知県臨床検査精度管理調査概要（案内）

佐野精度管理事業部長より、平成 30 年度 愛知県臨床検査精度管理調査概要（案内）の 6月号らぼニュース原稿について内容の確認があった。これを確認し、全員一致で承認した。

IV. 確認事項

1. らぼニュース 6 月号掲載内容について

山田広報部長より以下の内容の確認があった。

巻頭言 藤田副会長

平成 30 年度愛知県臨床検査精度管理調査概要（案内）

フレッシュセミナー2018 開催報告

1. 地区だより（西三河地区）

東三河地区研究会

研究会（微生物検査研究班・生殖医学検査研究班・生物化学分析検査研究会・生理検査研究班）

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信（第 53 回）

以上の内容で掲載する。

V. 新入会審査

(1) 87 名の新入会の審議を行い、入会を承認した。

VI. 連絡事項

(1) 定時総会出席票・委任状の回収について

夏目庶務部長より、平成 30 年度定時総会議案書の発送の予定と出席票・委任状の回収について連絡があった。毎年記載の誤り等あり無効となっている委任状があるので、注意してほしい。

(2) 世界禁煙デー街頭キャンペーンボランティアについて

牛田組織部長より 5 月 31 日に名古屋駅前で開催される世界禁煙デーのイベントについて、ボランティア要請の依頼があった。組織部員への声掛け、各地区理事より施設連絡責任者へ連絡を行っていく。

平成 30 年 6 月 6 日

議 長：梶山 広美 

議事録署名人：梶山 広美 

平成 30 年度第 3 回理事会 議事録

日 時：平成 30 年 6 月 6 日（水）18：30～21：00
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：梶山、藤田、所、中根、夏目、森田、中井、佐野、牛田、山田、内田、菊地、堤、
鈴木、矢田、南里、片山、井上、神谷、松本監事
陪 席：なし
欠 席：郡司、白石、山崎監事
理事定数：21 名
出席理事数：19 名
議 長：梶山広美
書 記：神谷秀典
議事録署名人：梶山広美、松本祐之

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから、議長が理事会の成立を宣言した。

II. 確認事項

1. 平成 30 年度定時総会の進行について

夏目庶務部長より平成 30 年度定時総会の進行について、議長を含め役割分担・タイムスケジュール・シナリオについて確認した。

III. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

5 月 2 日 第 2 回理事会

◎梶山、藤田、所、中根、夏目、森田、中井、佐野、牛田、山田、内田、菊地、堤、
鈴木、矢田、南里、片山、白石、井上、神谷

5 月 9 日 第 2 回精度管理事業部会

◎佐野、所

5 月 27 日 平成 30 年度新人サポート研修会

◎中井、梶山、所、鈴木

5 月 30 日 第 2 回執行理事会

◎梶山、藤田、所、中根

5 月 31 日 世界禁煙デー街頭キャンペーンボランティア

◎牛田、南里、梶山

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 2 回執行理事会報告

藤田副会長より 5 月 30 日に開催された第 2 回執行理事会について報告があった。第 3 回理事会審議事項の内容確認と監事指摘事項への対応、初級職能・ニューリーダー育成、管理運営合同研修会について、日本医学会総会 2019 中部市民展示について、全国検査と健康展について協議した。

- (2) 梶山会長
6月2日 一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会の創立65周年記念式典に出席した。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

① 庶務部

- 5月 1日 日臨技に検体採取用シミュレータ貸出申請書を発行し、発送した。
5月 4日 平成30年度定時総会議案書の印刷を山菊印刷に依頼した。
5月 7日 7月に開催される一般検査研究会の共催趣意書を発行し、発送した。
5月 7日 平成30・31年度新役員候補者に事務連絡を発送した。
5月15日 細胞検査部門の施設使用願いを発行し、発送した。
5月15日 生理検査部門の画像資料提供願いを発行し、発送した。
5月16日 平成31年厚生労働省関係叙勲及び褒章候補者の推薦について回答書を発行し、発送した。
5月24日 平成30年度定時総会議案書の発送を完了した。
5月25日 都道府県リーダー研修会について派遣講師ありで申請した。
5月29日 6月に開催される一般検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
5月29日 7月に開催される生物化学分析検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
5月29日 7月に開催される生殖医学検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
5月29日 7月に開催される微生物検査研究班基礎講座の講師依頼状を発行し、発送した。

② 会計部

森田会計部長より以下の報告があった。活動状況は例年通りである。事務所3階に置かれていた不明金について法人会計の雑収益 雑収益（摘要・不明金）で計上した。

(2) 学術部門

所副会長より輸血検査研究班員の応募について報告があった。メールで輸血検査研究班員に応募されたが事務所のパソコンにメールが届いていなかったため、審議されていなかったことが5月中旬に確認された。その後審査を行ったところ年齢、経験年数とも少なかったため、本人承諾のもと見合わせていただくこととなった。ネット環境の整備が喫緊の課題であり、早々に整えていくこととする。

① 学術部

- 5月27日 平成30年度新人サポート研修会を名市大医学部医学研究棟11階講義室Aにおいて開催した。受講者140名

② 精度管理事業部

- 5月 9日 第2回精度管理事業部会を開催した。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

- 尾張北地区
5月30日 第1回地区運営会議を開催した。(参加：14施設17名)
- 尾張東地区
5月8日 第1回地区運営会議を開催した。(参加：8施設9名)
- 尾張南地区

5月16日 第1回地区運営会議を開催した。(参加：6施設8名)

- 西三河地区

5月15日 第1回地区運営会議を開催した。(参加：14施設、16名)

- 東三河地区

5月17日 第1回地区運営会議を開催した。(参加：9施設11名)

② 組織部

5月31日 世界禁煙デー街頭キャンペーンボランティアに参画した。(参加：6名)

③ 広報部

山田広報部長より以下の報告があった。

6月1日 「らぼニュース No.435」(6月号)を3,500部発行した。

6月1日 「会誌らぼ Vol.69 No.1 2018」を3,500部発行した。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

山田広報部長よりホームページ更新歴について以下の報告があった。

5月1日 生理検査研究班 班員名簿・活動計画の掲載

5月1日 らぼニュース5月号の掲載

5月1日 微生物検査研究班 班員名簿・活動計画の掲載

5月2日 県学会祝賀会・懇親会、県学会企画ハンズオン募集の掲載

5月2日 輸血検査研究班研究会のお詫びの掲載

5月3日 輸血検査研究班名簿修正、6月研究会、7月基礎講座、カレンダーの掲載

5月10日 事務局からのお知らせに以下を掲載

「ハンズオン技術講習の申込開始日時について」

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

内田理事より5月17日(木)に開催された平成30年 AiCCLS 第1回実務委員会の報告があった。内容は、新規役員の紹介と各検査部門活動計画の確認、7月6日の理事会推進委員会に提出予定の臨床化学検査部門の手順書の確認をした。

6. 第18回愛知県医学検査学会第8回実行委員会報告

尾張北・矢田理事より5月9日 第8回実行委員会を開催したと報告があった。(参加：11施設15名)

7. 会計監査報告事項の指摘事項の対応について

中根副会長より地区理事会計の総合評価としての指摘事項④⑤⑥についてひな型を作成した上で、下記運用で実施していくと報告があった

〈検討事項〉

④ 会計簿の記載では、交通費・日当の合計を記載している場合と総合計を記載している場合があります。統一した記載方法の検討をお願いします。

⇒ 会計簿への記載は、交通費および日当を個別に明記し、その合計も記載することとする。

⑤ 昨年指摘しましたが、地区親睦会について補助金のみの記載地区と参加費を計上する地区とがあります。計上方法の統一をご検討をお願いします。

⇒ 地区親睦会では、参加費(人数と金額)と補助金(愛臨技)を個別に明記し、その合計を記載することとする。

⑥ 昨年指摘しましたが、地区親睦会の補助金支出について、参加人数の根拠となる書類の添

付（参加者名簿等）について検討をお願いします。

⇒ 地区親睦会では、参加人数の根拠となる人数を明記する目的で、参加者名簿を添付することとする。

8. 日本臨床衛生検査技師会報告

梶山会長より以下の報告があった。6月23日に日臨技定時総会が開催される。出席されない方は必ず電磁的方法で委任をお願いしたい。これからの検体採取の講習会について説明があった。

IV. 協議事項

1. 第2回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より、第2回理事会の議事録（案）の提案があり、これを確認し全員一致で承認した。

2. 総会終了後の臨時理事会開催について

夏目庶務部長より総会終了後の臨時理事会の開催について提案があり、これを確認し全員一致で承認した。

3. 日臨技認定センターへの指定講習会申請について

中井学術部長より日臨技認定センターへの指定講習会申請について以下の提案があった。病理細胞検査研究班の9月開催の基礎講座を「認定病理検査技師 認定更新指定研修会」として日臨技へ申請を、また生理検査研究班の10月開催の講演会を「認定心電検査技師 認定更新指定研修会」として日臨技へ申請について提案があり、これらを確認し全員一致で承認した。

4. 多職種連携講習会の後援団体依頼について

鈴木理事より多職種連携講習会の後援団体依頼について提案があり、これを確認し全員一致で承認した。

5. 測定依頼趣意書について

佐野精度管理事業部長より以下の提案があった。昨年まで試料測定の依頼書を各メーカーに送付していたが、あるメーカーから、趣意書が必要との申入れがあり、資料を作成したので内容を確認して欲しい。JAMT-QC（臨床化学）2種類とプール血清（免疫血清）5種類については「感染性のあるものとして取扱って下さい」の一文を入れることで、これらを確認し全員一致で承認した。

6. 標準菌株の購入について

佐野精度管理事業部長より標準菌株を購入するにあたり代表者を登録する必要があるとあり、愛臨技会長名でお願いしたいと提案があった。これを確認し全員一致で承認した。

7. 第18回愛知県医学検査学会について

尾張北・矢田理事より以下の提案があった。懇親会の事前登録と当日の確認方法については名簿を使用して行う。公開講演 渡邊院長の講師料に伴うマイナンバーについては確認が取れたと。勝川駅周辺での県学会における養成校ガイダンス資料配布は行わない事とした。ハンズオン希望者の募集の締め切りとお礼の案内をHP掲載することとした。委員の方が学会についておこなっているツイッターに愛臨技ホームページへのリンクを表示してよいか。これらについて確認し全員一致で承認した。

8. 第19回愛知県医学検査学会について

南里理事より、第19回愛知県医学検査学会の会場と開催時期について確認があった。学会事務局に一任することで、全員一致で承認した。

9. 平成 30 年度愛知県精度管理専門委員の推薦について
夏目庶務部長より平成 30 年度精度管理専門委員の推薦について提案があった。2 名継続、もう 1 名は執行部で人選することで、これを確認し全員一致で承認した。
10. 愛知県医師会精度管理委員会委員の推薦について
夏目庶務部長より、精度管理委員会委員の推薦について提案があった。これを確認し、適任の方を早急に人選し推薦することで、全員一致で承認した。
11. その他
 - (1) 第 30 回日本臨床微生物学会総会・学術集会の後援依頼について
夏目庶務部長より以下の提案があった。2019 年 2 月に開催される第 30 回日本臨床微生物学会総会・学術集会の「地域対抗一般演題賞争奪戦」に後援いただきたいと依頼があった。今回初めての後援依頼ということで一旦保留となった。
 - (2) 第 14 回日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会の後援依頼について
夏目庶務部長より以下の提案があった。2018 年 11 月に開催される第 14 回日本医療マネジメント学会愛知県支部学術集会に後援いただきたいと依頼があった。これを確認し全員一致で承認した。
 - (3) 第 21 回西三河がんフォーラムの生涯教育申請について
夏目庶務部長より 2018 年 9 月に開催される第 21 回西三河がんフォーラムの生涯教育申請をされたいとのこと、これを確認し全員一致で承認した。
 - (4) 平成 30 年度名古屋大学大学院医学系研究科（保健学）市民公開講座の後援依頼について
夏目庶務部長より以下の提案があった。2018 年 10 月に開催される平成 30 年度名古屋大学大学院医学系研究科（保健学）市民公開講座に後援いただきたい、とのこと、これを確認し全員一致で承認した。
 - (5) 秋の「すいみんの日」東海地区市民公開講座 2018 の後援について
夏目庶務部長より以下の提案があった。2018 年 9 月に開催される公益財団法人神経研究所睡眠健康推進機構主催による秋の「すいみんの日」東海地区市民公開講座 2018 に後援いただきたい、とのこと。これを確認し全員一致で承認した。

V. 新入会審査

1. 65 名の新入会の審議を行い、入会を承認した。

VI. 確認事項

1. らぼニュース 7 月号掲載内容について
山田広報部長より以下の内容の確認があった。
巻頭言 新会長挨拶 中根会長
新人サポート研修会開催報告（5 月 27 日）
平成 30 年度『禁煙週間』及び『歯と口の健康週間』における街頭キャンペーン活動報告
（5 月 31 日）
地区だより（尾張東地区）
退任理事挨拶
（椋山広美、所嘉朗、森田秀夫、牛田展浩、山田真、堤ちあき、郡司昌治、矢田啓二、
南里隆憲、片山孝文、白石了三、井上正朗、神谷秀典、松本祐之）
第 21 回 西三河がんフォーラム

8月講演会 ⇒ 血液
9月基礎講座⇒ 病理細胞、生物化学、微生物
9月研究会 ⇒ 血液（事前募集）3県合同
AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信（第54回）
以上の内容で掲載する。

平成30年7月4日

議長：梶山 広美 

議事録署名人：松本 祐之 

平成30年度第4回理事会 議事録

日 時：平成30年7月4日（水）18：30～21：05
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事
陪 席：大野（尾張東）
欠 席：柴田、今井、山崎監事
理事定数：21名
出席理事数：19名
議 長：中根 生弥
書 記：水野 義樹
議事録署名人：中根 生弥、梶山 広美

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから、議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

6月 6日 第3回理事会

◎梶山、藤田、所、中根、夏目、森田、中井、佐野、牛田、山田、内田、菊地、堤、
鈴木、矢田、南里、片山、井上、神谷、松本監事

6月 13日 第1回総務部門会議

◎梶山、藤田、夏目、森田、神谷、中井、鈴木

6月 17日 平成30年度定時総会

◎梶山、藤田、所、中根、夏目、森田、中井、佐野、牛田、山田、内田、菊地、堤、
鈴木、矢田、南里、片山、白石、井上、神谷、山崎監事

6月 17日 臨時理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、山崎監事、梶山監事

6月 19日 第1回学術部門会議

◎岡田、佐野、内田、菊地、鈴木

6月 27日 第3回執行理事会

◎中根、中井、岡田、藤田

7月 1日 第18回愛知県医学検査学会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、渡辺、梶山監事

7月 1日 第19回愛知県医学検査学会第1回企画委員会

◎内田、中根、中井、岡田、藤田、夏目、鈴木

7月 1日 祝賀会・懇親会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、鈴木、

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第3回執行理事会報告

中井副会長より6月27日に開催された第2回執行理事会について報告があった。第4回理事会審議事項の確認、理事会の進行方法、事務員の採用、事務所通信環境の整備、各種文章の決裁基準、定時総会における会員からの意見への回答、「全国検査と健康展」開催日、愛知県医学検査学会第20回開催担当、第58回日本臨床化学会年次学術集会のらぼニュースへの案内掲載、災害対応能力向上研修会、精度管理事業部員の増員、精度管理事業に対する倫理への対応、試薬メーカーの精度管理事業参加時の覚書について協議した。

(2) 中根会長

6月30日 平成30年度日臨技中部圏支部支部内連絡会議に参加し、中部圏支部学術部長に任命された。

7月4日 遠山会計事務所へ役員改選の挨拶に出向いた。

(3) 中井副会長

6月27日 加納司法書士事務所へ登記書類を提出した。

7月4日 加納司法書士事務所へ完成した登記書類の受け取りに出向いた。

7月4日 遠山会計事務所へ役員改選の挨拶に出向いた。

(4) 岡田副会長

7月4日 遠山会計事務所へ役員改選の挨拶に出向いた。

(5) 藤田副会長

6月23日 日臨技総会に出席した。

7月4日 遠山会計事務所へ役員改選の挨拶に出向いた。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

藤田副会長より6月13日に開催した第1回総務部門会議について報告があった(参加7名)。平成30年度事業スケジュール、決裁基準の作成、会計マニュアルの作成、事務員の募集について協議した。

中井副会長よりらぼニュース送付先の見直しについての報告があった。第3回執行理事会にて協議し、理事施設長宛への送付は今年度より停止することとした。

中井副会長よりお中元送付先についての報告があった。第3回執行理事会にて協議し、前年度と同様の5カ所に加え、愛知県医師会を追加することとした。

① 庶務部

6月12日 6月に開催された一般検査研究班研究会の講師礼状を発行し、発送した。

6月12日 7月に開催される第18回愛知県医学検査学会講師のマイナンバー書類を発行し、発送した。

6月12日 9月に開催される秋の「すいみんの日」東海地区市民公開講座2018の後援承諾書を発行し、発送した。

6月12日 10月に開催される多職種連携のための講習会の後援依頼文書を発行し、発送した。

6月12日 10月に開催される平成30年度名古屋大学大学院医学系研究科(保健学)市民公開講座の後援承諾書を発行し、発送した。

6月12日 11月に開催される第14回医療マネジメント学会愛知県支部学術集会の後援承諾書を発行し、発送した。

- 6月18日 愛知県医師会と病院協会に精度管理調査共催依頼書を発行し、発送した。
- 6月18日 役員改選挨拶状の印刷を依頼した。
- 6月20日 平成30・31年度役員委嘱状を発行し、発送した。
- 6月27日 加納司法書士事務所へ登記書類を提出した。
- 6月28日 精度管理調査についてメーカーに趣意書を発行し、発送した。
- 6月29日 精度管理調査について施設使用願いと画像資料提供願いを発行し、発送した。
- 7月2日 役員改選挨拶状を発送した。
- 7月3日 加納司法書士事務所にて登記書類が完了した。

花車ビル南館新役員体制について楢山監事より報告があった。花車ビル管理組合より監事の依頼があり、楢山監事が今年度も花車ビル管理組合監事を引き受けることとなった。

② 会計部

石神会計部長より学術部および地区の活動状況および予算執行率の報告があった。年度初めであり活動もまだ少ないため、執行率は低い状況となっている。

(2) 学術部門

岡田副会長より6月19日に開催した第1回学術部門会議について報告があった(参加5名)。平成30年度愛臨技事業日程および各部の事業および今後の課題について協議し、今年度の活動についての確認をおこなった。

① 学術部

内田学術部長より7月1日に開催された第19回愛知県医学検査学会第1回企画委員会について報告があった(参加12名)。次期学会開催日、学会役員候補、学会会場、テーマが主に協議され、県学会の準備・企画・運営に関する問題点についての協議もおこなった。

② 精度管理事業部

菊地精度管理事業部長より現在の愛知県臨床検査精度管理調査の申込み状況について報告があった。現時点での申し込み状況は112施設。申込み締切りが7月31日であるため、最終的に140弱施設の申込みを予測している。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張西地区

6月14日 第1回地区運営会議・親睦会を開催した。(参加：4施設8名)

● 尾張北地区

6月13日 第9回県学会実行員会を開催した。(参加：11施設14名)

地区内施設より、精度管理施設コードを2つ作りたいという相談を受けた。ランチラボを持つ施設からの相談で、病院ラボとの精度管理の運用に苦慮しているとのことであるが、精度管理の施設認証の関連もあるため、病院内で方向性を検討し、施設コード発行先の日臨技へ病院から相談していただくこととなった。

● 知多地区

6月28日 第2回地区運営会議を開催した。(参加：6施設7名)

6月28日 新人歓迎ボーリング大会を開催した。(参加：47名、うち新人15名)

● 東三河地区

6月21日 第2回地区運営会議を開催した。(参加：10施設14名)

6月29日 第1回東三河生理検査勉強会を開催した。(参加：7施設20名)

② 組織部

刑部組織部長から以下の報告があった。祝賀会懇親会について、7月1日に開催した。参加者193名、招待者20名。

春日井健康フェスティバルについて、開催日は9月2日(日)、今年は「採血を体験してみよう」という子供向けの体験コーナーを行なう予定だが、詳細は未定。例年、ほぼ組織部員だけで行っていることから、今年度も組織部員で対応する予定。

③ 広報部

武山広報部長より、らぼニュースの発行に関する報告があった。

7月1日「らぼニュース No.436」(7月号)を3,500部発行した。

今後の発行部数については、執行理事会にて発行先の見直しを行い若干発送先が減ったが、現在の会員数が約3,300名であり、その他関係各所及び賛助会員への配布を考慮すると3,500部が妥当であるとの判断に至った。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より以下の報告があった。

ホームページ更新歴

5月7日 遺伝子・染色体検査研究班 班員名簿の更新

5月7日 生理検査研究班 7月研究会とカレンダーの掲載

5月9日 病理細胞検査研究班 5月研究会とカレンダー、班員名簿、年間活動計画の更新

5月12日 血液検査研究班 班員名簿・活動計画の掲載

5月22日 血液検査研究班 活動報告書、8月講演会、9月研究会

5月30日 生殖医学検査研究班 7月研究会とカレンダーの掲載

6月1日 らぼニュース6月号の掲載

6月2日 東三河地区研究会とカレンダー掲載

6月8日 微生物検査研究班 7月研究会とカレンダーの掲載

6月12日 生殖医学検査研究班 4月講演会の活動報告の掲載

6月13日 H30前期日程の差替え

6月18日 精度管理申込開始、会長挨拶を掲載

6月20日 H30後期日程の掲載

6月22日 平成29年度議事録の一括化

6月22日 役員一覧の更新

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より完成したAiCCLSリーフレット(血液・細胞診)の報告があった。

6. 第18回愛知県医学検査学会報告

尾張北・神野理事より、6月13日に開催した第9回県学会実行員会の報告があった。(参加:11施設14名)

7月1日に行われた第18回愛知県医学検査学会について、参加者843名(会員646名、一般・学生・賛助会員197名)との報告があった。詳細については次回理事会にて報告予定。

7. 平成30年度愛知県精度管理専門委員の推薦について

前回理事会にて人選は執行部に一任することとなったため、中井副会長より、藤田孝氏、森田秀夫氏、岡田元氏の3名を推薦することを執行理事会で決定したとの報告があった。

8. 精度管理試料送付案内・実施注意事項・日臨技内部精度管理調査入力のお願について

中井副会長より、当文書は昨年と同様の内容であるため、執行理事会で確認し承認したとの報告があった。

9. 日本臨床衛生検査技師会報告

梶山監事より、以下の報告があった。

6月23日平成30年度日臨技定時総会が開催され、藤田副会長が出席。平成29年度事業報告および決済について承認された。役員についてもすべて承認され新執行部での活動が開始された。新執行部メンバーは、基本的に前回執行部と同じであるが、1名変更し欠員分1名が新たに加わった。梶山監事については、日臨技副会長が任命された。

平成30年度愛臨技総会における会員からの意見について、日臨技および中部圏支部医学検査学会のWEB抄録の冊子化に関する要望は、中根会長より中部圏支部長へあげていただくようお願いをした。

10. その他の報告事項

- (1) 藤田副会長より第58回日本臨床化学会年次学術集会のらぼニュース掲載依頼を受けたとの報告があった。関連団体であり、規定上執行理事会の承認により掲載することができるため、第3回執行理事会にて承認した。
- (2) 中根会長より中部圏支部医学検査学会の演題追加募集について依頼を受けたとの報告があった。7月7日まで募集期間を延長している。
- (3) 岡田副会長より、祝賀会・懇親会の垂れ幕についての指摘があった。愛知県医学検査学会祝賀会・懇親会か愛知県臨床検査技師会祝賀会・懇親会のどちらかに絞れないかとの意見があり、今後引き続き協議していくこととなった。また同時に祝賀会・懇親会の分担についても同様に協議していくこととなった。

III. 協議事項

1. 第3回理事会の議事録（案）の確認について
夏目庶務部長より、第3回理事会の議事録（案）の確認依頼があり、これを確認し、全員一致で承認した。
2. 平成30・31年度役員推薦委員について
夏目庶務部長より、各地区から推薦された役員推薦委員についての審議依頼があり、これを確認し、全員一致で承認した。
3. 会計部員の選任について
中井副会長より、石神会計部長の補佐として森田前会計部長を会計部員とする審議依頼があり、これを確認し、全員一致で承認した。
4. 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の企画・予算について
鈴木理事より、日臨技に提出する多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の企画書・予算書について審議依頼があった。これらを確認し、全員一致で承認し、日臨技執行理事会へ提出することとなった。
5. 平成30年度「検査と健康展」開催日について
藤田副会長より、平成30年度「検査と健康展」開催日についての審議依頼があった。臨床検査の日である11月11日（日）を予定し多数会場をあたったが、会場確保が困難なため11月18日（日）イオンモール熱田での開催としたいとの案が提示され、全員一致で承認された。しかし、11月18日（日）は精度管理調査結果検討会と重なるため、早めに学術部門へ連絡することとする。内容に関しては、日臨技から発行される開催案内の趣旨に準じて行う方向で今後検討を進める。

6. 第 19 回愛知県医学検査学会の開催概要について
尾張東地区・大野氏より第 19 回愛知県医学検査学会の開催日 2019 年 7 月 7 日（日）、場所サン
プラザシーズズ（名古屋市名東区藤里町 1601 番地）、学会役員 5 役について審議依頼があり、
これらを確認し、全員一致で承認した。
7. 今後の愛知県医学検査学会開催準備について
学会開催準備についての意見、提案があり協議をおこなった。開催日、場所、学会役員の承認時
期、学会長の決定方法についての意見があり、実行委員会の立ち上げを半年ほど早める案があ
った。今後、マニュアルを更に充実させながら、具体的な学会準備スケジュールに関しては半年
ほど早める方向で執行理事会にて協議を続けることとなった。懇親会開催準備についても同様に
協議していくこととなった。
サイボウズの第 19 回グループ作成については、第 18 回グループに第 19 回メンバーを追加し、
第 18 回終了後に利用開始することとなった。
8. サイボウズのメンバー入れ替えについて
中井副会長よりサイボウズの愛臨技組織、学術班などのメンバー整理についての提案があった。
現在、新旧メンバーが入った状態となっているため、早急に新メンバーに入れ替える方向で進め
る。
9. 第 20 回愛知県医学検査学会の開催について
中井副会長より、2020 年が愛臨技創立 70 周年となり県学会も第 20 回となるため、開催準備を
輪番通り尾張南地区が担当するか、技師会として実行委員会を結成するかについて協議依頼があ
った。各地区においても検討し、意見が集約されるまで継続審議とすることとなった。各地区に
て協議する内容について、まず第 20 回県学会の開催方法に関する事、およびその後の開催間
隔も含む県学会の在り方とし、近年拡大傾向にあり学会長選出や開催場所など開催準備の負担が
大きくなっている実状について協議することとする。しかし、県学会の開催趣旨の一つである新
人・若手の育成、登竜門としての県学会であることを念頭に置いたうえでの協議をしていくこ
ととなった。
10. その他
 - (1) 議題書き込み作業等複数名で作成する文書等の作成作業効率化について
菊地精度管理事業部長より以下の提案があった。クラウドを利用した方法（Google document）
の紹介があり協議を行い、メリット・デメリットについての様々な意見があがった。現在、
愛臨技内システム環境の整備、サイボウズの利用などシステム関連の協議が総務部門にて行
われているため、今後総務部門が検討していくこととなった。

IV. 新入会審査

17 名の新入会審査を行い、入会を全員一致で承認した。

V. 確認事項

1. 決裁基準について

藤田副会長より、各種提出書類等の決裁基準がわからず混乱をきたしている現状を解決するため、
決裁基準表を作成し提示された。内容に対して必要な決済が順を追って確認できる表となってい
るが、具体的にどんな書類が該当するのかが明確でないため、今後、注釈として具体的な文書名
を記載する予定。次回理事会にて完成版を提示し、承認が得られれば利用していく方向で進めて
いく。ただし、判断がつかない書類については、所属する部長または副会長に個別で相談する。

2. らぼニュース 8 月号掲載内容について

武山広報部長より以下内容の確認があった。

巻頭言 医療法改正 梶山監事

平成 30 年度定時総会開催報告

地区だより（尾張東）

多職種連携講習会開催のご案内

春日井市健康救急フェスティバル開催案内

講演会（一般検査研究班）

研究会（微生物検査研究班、遺伝子染色体検査研究班）

平成 30・31 年度公益社団法人愛知県臨床検査技師会 役員

多職種連携講習会開催のご案内については、未確定のため 9 月号掲載とする。巻頭言は鈴木理事に多職種連携講習会について記載いただくこととなった。また、第 18 回愛知県医学検査学会の総括および日本臨床化学会年次学術集会の開催案内についても掲載することで、全員一致で承認した。

VI. 連絡事項

1. 災害対応能力向上研修会のご案内

中根会長より、日臨技から災害対応能力向上研修会の開催案内が届いているため、会員に周知の旨、連絡があった。

2. 自然災害による被災会員に対する共済金の支給申請手続き等について

中井副会長より、会員の中で自然災害被害に遭われた方は地区理事を通して担当副会長へ連絡し、理事会に報告するよう連絡があった。また、届出用紙により申請をしていただくと共済金等の支給が受けられる制度についての連絡があった。

平成 30 年 8 月 1 日

議

長：中根 生弥



議事録署名人：梶山 広美



平成 30 年度第 5 回理事会 議事録

日 時：平成 30 年 8 月 1 日（水）15：00～17：30
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：藤田、梶山監事
理事定数：21 名
出席理事数：20 名
議 長：中根 生弥
書 記：柴田 典子
議事録署名人：中根 生弥、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから、議長が理事会の成立を宣言した

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

7 月 4 日 第 4 回理事会

◎ 中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事

7 月 6 日 第 3 回精度管理事業部会議

◎ 菊地、岡田

7 月 20 日 第 2 回総務部門会議

◎ 中井、夏目、石神、柴田、水野

7 月 25 日 第 4 回執行理事会

◎ 中根、中井、岡田、藤田

7 月 31 日 第 1 回広報部会・ホームページ運営委員会

◎ 武山、藤田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 4 回執行理事会報告

中井副会長より 7 月 25 日に開催された第 4 回執行理事会について報告があった。第 5 回理事会審議事項の確認、藤保大における客観的臨床能力試験（OSCE）の外部評価の依頼、第 18 回愛知県医学検査学会会計報告、第 67 回愛知県糖尿病療養指導研究会講演会、日本 PSG 研究会第 26 回全国大会の後援依頼、地区理事マニュアルについての協議、承認および前回の継続審議事項の確認を行った。継続審議事項のうち、事務所の通信環境については 8 月 16 日に工事を行い、切り替えを行うこととなった。それに伴い事務所で使用しているアドレスの変更があると報告された。平成 30 年度定時総会における会員からの意見に対する回答については執行理事会で回答を審議し、中根会長から直接回答することとした。地区理事からの連絡会議議事録は会務報告書とともに組織部長に提出することとした。

- (2) 中根会長
 7月 6日 AiCCIS 理事会・推進委員会に出席した
 7月 8日 第 36 回東三河地区研修会および地区懇親会に出席し、挨拶を行った。
 7月 9日 組織部会議に、前渉外部門担当副会長として出席した。
- (3) 中井副会長
 7月 6日 AiCCIS理事会・推進委員会に前学術部長として出席した
- (4) 岡田副会長
 7月 6日 AiCCIS 理事会・推進委員会出席
 7月 6日 精度管理事業部会出席
 7月 8日 東三河地区研究会および懇親会出席
- (5) 藤田副会長
 7月 8日 東三河地区研究会および懇親会に出席した。
 7月 9日 組織部会務引継ぎ会議に出席した。
 7月 31日 ホームページ運営会議に出席した。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より 7月 20日開催した第 2 回総務部門会議の報告があった
 緊急連絡網については紙媒体の運用は行わず（平成 28 年理事会決議事項）、各担当副会長を軸に各部門で作成することとし、緊急時には庶務部長からサイボウズへもトピックをあげることにした。その他、短期中期事業計画及び年間スケジュールの確認、法人立ち入り検査、総務部門内業務分掌、愛臨技備品の管理、Google document の試用、事務所の通信環境、事務員の採用状況などについて確認し、事務員の職員証を作成することとした。また、事務所への問い合わせ事例の対応報告があった。

① 庶務部

- 7月 4日 7月に開催される輸血検査研究班基礎講座の実務委員依頼状を発行し、発送した。
 7月 4日 7月に開催される一般検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
 7月 5日 平成 30・31 年度役員推薦委員委嘱状と第 1 回開催案内を発行し、発送した。
 7月 5日 第 19 回愛知県医学検査学会実行委員 5 役にサイボウズ招待メールを送った。
 7月 5日 平成 30 年度愛知県精度管理専門委員の推薦の回答書を発行し、発送した。
 7月 8日 公益法人 information にて役員改選の変更の届出を県に提出した。
 7月 9日 10月に開催される多職種連携講習会の講師依頼状を発行し、発送した。
 7月 11日 10月に開催される多職種連携講習会の講師依頼状を再発行し、発送した。
 7月 17日 7月に開催された一般検査研究班研究会の講師礼状を発行し、発送した。
 7月 17日 9月に開催される微生物検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
 7月 17日 9月に開催される微生物検査研究班基礎講座の講師依頼状を発行し、発送した。
 7月 17日 10月に開催される多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の実務委員委嘱状を発行し、発送した。
 7月 23日 2019 年度に開催される第 19 回愛知県医学検査学会の実行委員委嘱状を発行し、発送した。
 7月 25日 7月に開催された生物化学分析検査研究班研究会の講師礼状を発行し、発送した。
 7月 25日 9月に開催される微生物検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
 7月 25日 9月に開催される微生物検査研究班基礎講座の講師依頼状を発行し、発送した。
 7月 26日 愛臨技の銀行口座 20 通の名義を相山前会長から中根会長に変更した。

② 会計部

石神会計部長より、学術部および地区の活動状況および予算執行率の報告があった。年度初めであり活動もまだ少ないため、執行率は低い状況となっている。

また、平成31年度予算案策定依頼とスケジュール確認がされた。

8/1	予算案策定依頼
9/30	会計部へ予算案提出〆切
11/28	執行理事会にて調整
12/5	理事会にて第1回提案（旧基準書式、理事会）
1/9	理事会にて第2回提案（新基準書式、理事会）
2/6	理事会にて第3回最終提案（新基準書式、理事会）
3/7	予備日

各部門単位で事業を計画し予算案を提出することとする。

第18回県学会より残金の振込があった。会計簿提出完了し、内容を確認した。未払いであった交通費などを追加で支払いされる見込みである。また、県学会会計ファイルの様式を変更する予定で準備中である。

(2) 学術部門

① 学術部

内田学術部長より、7月31日に一般検査研究班 研究会の日臨技推進事業決算報告が承認され助成金が愛臨技へ支払われ、新人サポート研修会の助成金も入金されたと報告があった。また、輸血検査部門の11月第3週開催予定の研修会を第4週とすると報告があった。

内田学術部長より、7月1日（日）に開催された第18回愛知県医学検査学会学術奨励賞の推薦について、大橋功男学会長より対象者の報告があり学術部で選考中との報告があった。

② 精度管理事業部

菊地精度管理事業部長より以下の報告がされた。7月6日（金）に平成30年度第3回精度管理事業部会議を開催した。精度管理データの二次利用、日臨技サポート事業などについて審議した。7月31日（火）に精度管理調査申込みを終了した。今年度の参加施設は141施設であった（昨年度は136施設）。9月2日（日）に愛知県医師会館にて試料発送を行う予定。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張北地区

7月18日 第2回地区運営会議を開催した。（参加：15施設16名）

会誌らばへの会員業績については全施設掲載して欲しいとの意見が出され、中根会長より原稿は会員に公募して掲載している旨の回答がされた。

● 尾張東地区

7月13日 第2回地区運営会議を開催した。

（参加：10施設11名、オブザーバー6施設9名）

● 尾張南地区

7月18日 第2回地区運営会議を開催した。（参加：9施設11名）

● 西三河地区

7月17日 第2回地区運営会議を開催した。（参加：11施設12名）

● 東三河地区

7月8日 第36回愛臨技東三河地区研究会を開催した。

研究会参加：165名（会員123名、非会員9名、賛助会員33名）

懇親会参加：128名（会員90名、非会員2名、賛助会員36名）

② 組織部

刑部組織部長より検査と健康展開催について報告があった。会期は平成30年11月18日(日)、会場はイオン熱田店、内容は検査展(検査体験コース)と健康展(検診コース)を企画、検査展は超音波体験ブース、顕微鏡体験ブース、健康展は骨密度測定、血管年齢、検査説明アドバイザーとして医師1名を依頼予定である。また臨床検査技師紹介コーナー(DVD上映、パネル展示)、養成校紹介コーナーを設ける予定。当日の実務委員として学術部(生理検査担当8名、顕微鏡担当8名程度)への依頼があった。内田学術部長より研究班班長に依頼し、9月末までに回答することとした。

③ 広報部

武山広報部長より以下の報告があった。

8月1日 「らぼニュース No.437」(8月号)を3,500部発行した。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より以下の報告があった。

7月31日 第1回ホームページ運営委員会を開催した。

ホームページ更新歴

6月12日 生殖医学検査研究班 4月講演会の活動報告の掲載

6月13日 H30 前期日程の差替え

6月18日 精度管理申込開始、会長挨拶を掲載

6月20日 H30 後期日程の掲載

6月22日 平成29年度議事録の一括化

6月22日 役員一覧の更新

7月1日 血液検査研究班 8月講演会と9月研究会、カレンダー掲載

7月1日 らぼニュース7月号の掲載

7月2日 西三河がんフォーラムカレンダー掲載

7月3日 輸血検査研究班 アンケート、活動報告掲載

7月9日 微生物検査研究班 9月研究会と基礎講座、カレンダー掲載

7月10日 主な行事の更新

7月13日 血液検査研究班 中部圏支部研修会の掲載

7月17日 病理細胞検査研究班 9月基礎講座、カレンダー掲載

サイボウズの後継について提案があり、執行理事会で協議することとした。また、研究班のHP運用ルールについて後日報告する。

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より、7月6日(金)に愛知県医師会館にて平成30年度愛知県臨床検査標準化協議会 第1回理事会・推進委員会合同会議を開催し、役員選任、平成29年度事業報告・決算、平成30年度事業計画・予算案と新発刊物である臨床化学検査部門からの“愛知県臨床検査値統一化ガイドライン「臨床化学検査」”について審議したと報告があった。

6. 第18回愛知県医学検査学会報告

尾張北・神野理事より、第10回実行委員会議事録報告、会計報告及び要望書提出があった。要望書の内容を協議し、今後の適正で円滑な学会運営に役立てていくこととした。詳細は学会運営マニュアルに反映することとした。

7. 第19回愛知県医学検査学会第1回実行委員会報告

尾張東・今井理事より7月13日 第1回実行委員会(参加:8施設13名、オブザーバー1施設1名)の開催報告があった。

8. その他

- (1) 夏目庶務部長より第 67 回愛知県糖尿病療養指導研究会学術講演会について生涯教育研修申請について執行理事会で承認済みと報告され、らぼニュースへの掲載依頼があった。
- (2) 岡田副会長より日本 PSG 研究会第 26 回全国大会について後援申請があり、執行理事会で承認されたと報告された。

Ⅲ. 協議事項

1. 第 4 回理事会の議事録（案）の確認について
夏目庶務部長より、第 4 回理事会の議事録（案）の確認依頼があり、これを確認して修正などがあれば 8 月 8 日（水）までに庶務部長まで連絡することとし、全員一致で承認した。
2. 豊田市精度管理専門委員の推薦について
夏目庶務部長より、豊田市精度管理専門委員の推薦について、衛生検査所精度管理専門員選考規程に則り、継続して愛知医科大学病院の佐野俊一氏に依頼することについての審議依頼があり、これを確認し、全員一致で承認した。
3. 名古屋市衛生検査所精度管理専門委員の推薦について
夏目庶務部長より、名古屋市衛生検査所精度管理専門委員の推薦について、衛生検査所精度管理専門員選考規程に則り、継続して刈谷豊田総合病院の中村清忠氏に依頼することについての審議依頼があり、これを確認し、全員一致で承認した。
4. 第 19 回愛知県医学検査学会趣意書について
尾張東・今井理事より第 19 回愛知県医学検査学会趣意書が提出され、審議した。提出された趣意書のメインテーマの「活躍のフィールドを広げよう」の漢字について意見が出されたが実行委員会に一任することとし、テーマについて全員一致で承認した。
5. 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会について
鈴木理事より、多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会のらぼニュース原稿の内容について審議依頼があり、これを確認し、全員一致で承認した。
6. 地域ニューリーダー育成研修会の受講申請及び推薦について
中井副会長より地域ニューリーダー育成研修会受講者について、小牧市民病院の藤田京子氏を推薦したいとの提案があり、全員一致で承認した。
7. 平成 30 年度日臨技中部圏支部医学検査学会座長推薦について
岡田副会長より以下の報告がされた。座長推薦は本来理事会審議事項であるが、依頼から締め切りまでの時間に余裕がなかったため事後報告となった。生理、微生物、免疫血清、輸血、血液部門各 1 名が推薦され、これを確認し、全員一致で承認した。
8. 第 18 回愛知県医学検査学会会計報告について
中井副会長より第 18 回愛知県医学検査学会の会計報告について説明があり、後援団体への報告のため 1 ヶ月以内に作成する必要があると報告された。執行理事会にて承認したとの報告があった。会計報告確認者の氏名を明記すべきではとの意見が出されたが、県学会としての特別会計ではなく、愛臨技事業の一部であるため、最終的な監査は総合的に年度末に行われることから、記名はしないこととした。内容を確認し、全員一致で承認した。

9. 愛知県医学検査学会の運営について

県学会運営について審議した。運営マニュアルについては現在改訂中であるが、大きな変更はないとのことであった。祝賀会・懇親会は愛臨技の主催であること、実行委員会と愛臨技理事会が協力して開催することを確認し、県学会の準備金については現状を鑑み増額することを全員一致で承認した。抄録集の発行方法については継続審議事項であるが、次回理事会までには決定することとした。

IV. 確認事項

1. らぼニュース 9月号掲載内容について

武山広報部長より以下内容の確認があった。

巻頭言 医療法改正 梶山監事

輸血検査研究班 基礎講座に参加して

地区だより（東三河）

多職種連携講習会開催のご案内

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信（第55回）

武山広報部長より学術部の原稿が未納のため提出するよう依頼があった。また、紙面に余裕があるため、東三河地区研修会の感想文を9月号に掲載することとした。

V. 新入会審査

12名の新入会審査を行い、入会を全員一致で承認した。

VI. 連絡事項

1. 平成30年7月豪雨被害に対する見舞い金申請について

夏目庶務部長より、豪雨被害を受けた会員に対する見舞い金申請届け出用紙があるので地区理事を通じて組織部へ提出するようとの確認があった。

2. 平成30年度日臨技北日本支部医学検査学会におけるアンケート調査について（依頼）

夏目庶務部長より、北日本支部からのアンケート調査協力依頼があったとの報告があった。締め切り期日が迫っているが、愛臨技HPに掲載し協力を呼び掛けることとした。

3. 平成30年度第2回愛知県病院薬剤師会感染制御部会学術講演会について

岡田副会長より表記の講演会について紹介があった。

4. 厚生労働省省令第九十三号

梶山日臨技副会長から報告のあった医療法改正について官報の抜粋を資料として提出された。

平成30年9月 5日

議

長：中根 生弥



議事録署名人：山崎 正夫



平成 30 年度第 6 回理事会 議事録

日 時：平成 30 年 9 月 5 日（水）18：30～20：40
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺
陪 席：なし
欠 席：今井、楢山監事、山崎監事
理事定数：21 名
出席理事数：20 名
議 長：中根 生弥
書 記：水野 義樹
議事録署名人：中根 生弥

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから、議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

7 月 31 日 第 1 回広報部・ホームページ運営委員会

◎ 武山、藤田

8 月 1 日 第 5 回理事会

◎ 中根、中井、岡田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、山崎監事

8 月 7 日 第 1 回組織部運営会議

◎ 刑部、藤田、和出、木下、今井、村瀬、中村、渡辺

8 月 28 日 第 1 回スキルアップセミナー実行委員会

◎ 岡田、鈴木、神野

8 月 29 日 第 5 回執行理事会

◎ 中根、中井、岡田、藤田

9 月 2 日 春日井健康救急フェスティバル

◎ 刑部、和出、渡辺

9 月 2 日 第 4 回精度管理事業部会

◎ 菊地、中根、佐野、今井

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 5 回執行理事会報告

中井副会長より 8 月 29 日に開催された第 5 回執行理事会について報告があった。

第 6 回理事会審議事項の確認、県学会抄録集を会誌らぼとともに愛臨技が発行することについて、地区理事マニュアルについての修正、愛知県医学検査学会会計報告の使用変更、サイボウズに変わるシステム試用のためのレンタルサーバー新規契約、ヤマト運輸からの DM 便

値上げ申し入れについて、協議および承認を行った。継続審議事項については、事務所通信環境の契約更新完了、事務職員採用および勤務開始、第20回愛知県医学検査学会の尾張南地区単独担当、修文大学からの要望書について協議し決議された。

(2) 中根会長

8月7日 執行部役員として愛知県医師会・愛知県病院協会・愛知県健康福祉部へ出向き、挨拶を行った。

8月23日 会員の逝去にともない、葬儀に参列した。

8月29日 パート事務員の採用面談に立ち会った。

(3) 中井副会長

8月7日 執行部役員として愛知県医師会・愛知県病院協会・愛知県健康福祉部へ出向き、挨拶を行った。

8月29日 パート事務員の採用面談に立ち会った。

(4) 岡田副会長

8月7日 執行部役員として愛知県医師会・愛知県病院協会・愛知県健康福祉部へ出向き、挨拶を行った。

(5) 藤田副会長

8月7日 執行部役員として愛知県医師会・愛知県病院協会・愛知県健康福祉部へ出向き、挨拶を行った。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より以下の内容について報告があった。

平成30年度定時総会における会員からの質問事項について以下の通り回答した。

【質問内容】

1. 県学会の準備金20万円について学会終了後に返却をしているので、余剰金を次期学会への繰越金として扱えば準備金は不要ではないか。
2. 県学会の抄録は全会員に配布されていることから、県学会の抄録作成費用が現状での参加者からの参加費で賄うことは賛同しかねる。
3. 日本医学検査学会の抄録が電子媒体になり見ることはできても書き込むことはできない。事前登録をして必要な人に抄録を配布して欲しい。

【回答】

1. 愛知県医学検査学会（以下県学会）は、公益社団法人愛知県臨床検査技師会（以下愛臨技）の事業であり、公益社団法人の会計処理上、県学会特別会計は存在せず、余剰金を次年度県学会会計に繰り越すことはできない。
2. 県学会の抄録は愛臨技全会員に配布するため、その印刷費用が高額であり、県学会予算への負担が大きいことから、平成31年度より愛臨技広報部予算より執行することとする。
3. 日本臨床検査衛生検査技師会へ抄録のWEB化について愛臨技より会員からの意見として報告する。

・ 8月22日に事務所通信環境をSo-net光withフレッツ光へ変更工事を行った。

・ 愛知県健康福祉部より、「医療法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令の施行について」の通知が届いたが、日臨技からのものと同様であったとの報告があった。

① 庶務部

夏目庶務部長より以下の報告があった。

8月2日 11月に開催される第26回PSG研究会全国大会の後援承諾書を発行し発送した。

- 8月 2日 豊田市精度管理専門委員の推薦について回答書を発行し、発送した。
- 8月 8日 日臨技地域ニューリーダー研修会の受講申請書を発行し、発送した。
- 8月 16日 名古屋市衛生検査所精度管理専門委員の推薦について回答書を発行し発送した。
- 8月 22日 会員の逝去に伴い、供花、弔電、香典を供した。
- 8月 30日 公益法人の運営および寄附等に関するアンケート調査について回答した。

2019年度定時総会の開催について、日時および会場を2019年6月16日(日)10:00~12:00、TKP名駅桜通口カンファレンスセンターとし、関係者の集合は9時とする旨の報告があった。

② 会計部

石神会計部長より、8月16日付けにて愛知県臨床検査標準化協議会より助成金振込依頼があり、250,000円を振込んだとの報告があった。また、県学会にて購入されたUSBメモリについて、次期実行委員長へ引継ぎが行われたこと、県学会会計最終報告について一部修正を加えたが金額の変更はなかったとの報告があった。学会会計については、次期県学会から会計ファイルを変更することになり決算書の課目等の変更もあるが、最終的には現会計ファイルと近いものになる旨の報告があった。

学術部および地区の活動状況および予算執行率の報告があった。予算執行率の低い部門もあるが、基礎講座や研究会を控えていることを考慮すると概ね良好と判断された。

(2) 学術部門

① 学術部

鈴木理事より、愛知県医学検査学会開催マニュアル改定版を作成したとの報告があり、改定内容についての説明があった。執行理事会での意見も加え、サイボウズ共有フォルダへ格納することとなった。また、石神会計部長より学会役員決定前の学会関連会計について審議依頼があり、第1回企画会議前に行う会議の実施については、基本的に地区運営会議にて行い、予算についても担当地区の予算にて行う方向となった。また、第1回企画会議前に協議する内容としては、学会役員の選出と会場の決定とする方向となった。学会役員の承認については、第1回企画会議前の理事会にて承認する方向となった。

内田学術部長より、8月31日に生殖医学検査研究班研究会、愛知県輸血検査研究班基礎講座、血液研究班講演会の日臨技推進事業決算報告が承認され助成金が愛臨技へ生殖医学検査研究班研究会から27,500円と愛知県輸血検査研究班基礎講座、血液研究班講演会は50,000円が入金されたとの報告があった。また、8月28日に第1回学術部スキルアップ研修会担当者会議開催の報告があり、開催概要および企画内容について報告された。

② 精度管理事業部

菊地精度管理事業部長より、9月2日に愛知県医師会館にて試料発送を行い、その後、第4回精度管理事業部会を開催したとの報告があった。試料発送は一般施設141施設、メーカー27施設へ行き配送遅延は0件と大きなトラブルは無かったと報告された。

また、日臨技サーベイサポート事業を開始するに当たり、日臨技へサーベイデータ提供のお願いを行ったとの報告があった。実施に関する具体的な内容については、基幹施設小委員会にて協議するとの報告があった。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張西地区

8月17日 第3回地区運営会議を開催した。(参加：9施設11名)

● 尾張北地区

8月 4日 親睦会を開催した。(参加：4施設14名)

- 知多地区
8月16日 第3回地区運営会議を開催した。(参加:6施設8名)
研修会講師について県外講師への依頼も許可して欲しいとの意見があると提案があった。
中井副会長より過去の経緯が説明され、原則として県内講師を探していただきたいが、禁止してはならないため必要に応じて許可するとの回答が中根会長、藤田副会長からあった。
- 東三河地区
8月30日 東三河地区輸血勉強会を開催した。(参加:8施設27名)

② 組織部

刑部組織部長より8月7日に開催された第1回組織部運営会議について以下の報告があった。
年間行事の確認および各行事担当責任者の決定、緊急連絡網の整備、春日井健康救急フェスティバルの開催、検査と健康展について協議した。また、9月2日に開催した春日井健康救急フェスティバルについて、採血体験、リトマス試験紙を使ったpH測定、クロマトグラフィー体験の企画を実施し、採血体験には138名、リトマス紙・クロマト体験には128名の参加があったと報告された。

③ 広報部

武山広報部長より以下の報告があった。
9月1日 「らぼニュースNo.438」(9月号)を3,500部発行した。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より以下の報告があった。
7月31日に開催された第1回ホームページ運営委員会の内容について、ホームページ運用マニュアルの作成、ファイル名の文字化け修正、愛臨技のインターネットシステムについての報告があった。また、ホームページ運用マニュアルについては、ルールは存在するが明文化されておらず混乱が生じていることから、委員会にて作成したホームページ運用マニュアルを作成することとなり、ホームページ運用マニュアル(案)が提示され内容についての説明があった。内容については問題はないため、各研究班へ通達することとなった。
サイボウズ代替、ファイル共有システムの試用について、インターネットシステム(案)に関しての報告があった。

ホームページ更新歴

- 7月24日 主な行事の更新、県学会のバナー削除
- 8月1日 輸血検査研究班 中部圏支部研修会の掲載
- 8月1日 HP運営委員 微生物検査の修正(テストページの削除)
- 8月1日 HP運営委員 らぼニュース8月号の掲載
- 8月2日 H30後期日程、北日本アンケートの掲載
- 8月3日 遺伝子・染色体検査研究班 9月研究会、カレンダー掲載
- 8月4日 遺伝子・染色体研究班の修正
- 8月5日 HP運営委員 各種手続きのファイル名の変更
- 8月7日 生殖医学検査研究班 7月研究会活動報告
- 8月9日 生理検査研究班 7月研究会活動報告
- 8月20日 HP運営委員 一般検査平成29年度活動報告の一括化

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より、「愛知県臨床検査値統一化ガイドライン「臨床化学検査」第2版」発刊のためのパブリックコメント募集を9月7日から10月31日まで愛臨技ホームページ上にて開始したとの報告があった。

6. 第 19 回愛知県医学検査学会第 2 回実行委員会報告
佐野理事より、8 月 10 日第 2 回実行委員会（参加：8 施設 12 名）開催報告があった。
第 2 回実行委員会議事録、第 19 回愛知県医学検査学会予算書、第 18 回との引き継ぎ議事録が提示され、内容報告があった。予算案に関して、平成 31 年度開催学会から抄録集を会誌らぼとともに愛臨技から発行するため、第 19 回愛知県医学検査学会から適応することとなった。このため、広告募集についても愛臨技から募集することとなった。
7. 日本臨床衛生検査技師会報告
中井副会長より、「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講促進のお願い」文書が日臨技から届いたとの報告があった。全国で約 6 割の方が受講済み。各都道府県によって受講率に差があり、愛知県は 73.8%。平成 31 年国家試験受験者からは、新カリキュラムでの卒業となり講習会の開催が減るため、未受講者への受講連絡を進めてください。
8. その他
 - (1) 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会について
鈴木理事より、多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の申込みを 9 月 1 日より開始したとの報告があった。
 - (2) 地区理事マニュアルについて
藤田副会長より、地区理事マニュアルの修正に関する報告があった。
 - (3) 日臨技中部圏支部部門員選任手順について
岡田副会長から、中部圏支部部門員選任手順についての質問があり、中根会長から中部 6 県の意見をまとめ、各県における選出手順も含めたマニュアルを作成中との回答があった。理事会での承認は必要となる方向で調整中。

Ⅲ. 協議事項

1. 第 5 回理事会の議事録（案）の確認について
夏目庶務部長より、第 5 回理事会の議事録（案）の確認依頼があり、これを確認して修正などがあれば 1 週間程度をめぐり庶務部長まで連絡することとし、全員一致で承認した。
2. 第 18 回愛知県医学検査学会の学術奨励賞の推薦について
内田学術部長より、学術部から選出した 3 演題について審議依頼があり、全員一致で承認した。
庶務部から本人および所属施設の技師長宛に推薦承認に関する連絡を行うこととなった。また、学術論文の提出期限は平成 31 年 3 月末とする。
3. 生物化学分析検査研究班から 12 月講演会の共催依頼書について
内田学術部長より、平成 30 年度生物化学分析検査研究班講演会の共催についての審議依頼があり、全員一致で承認した。
4. 検査と健康展らぼ原稿について
刑部組織部長より、検査と健康展の開催概要とボランティア募集に関するらぼニュース原稿の内容について審議依頼があり、これを確認し、事業内容、ボランティアの業務内容等若干の加筆修正を加えることとし、全員一致で承認した。
5. その他
 - (1) 「第 23 回岡山県臨床検査精度管理調査速報会」への講師派遣依頼について
菊地精度管理事業部長より、第 23 回岡山県臨床検査精度管理調査速報会への講師派遣依頼について佐野理事を推薦したいとの提案があり、全員一致で承認した。

(2) 第 19 回愛知県医学検査学会の後援依頼について

佐野理事より、第 19 回愛知県医学検査学会の後援依頼を愛知県、名古屋市、愛知県病院協会、愛知県医師会へ行うことについて審議依頼があり、事業共催・協賛・後援申請書を確認し、全員一致で承認した。申請書は庶務部にて確認し、発送することとなった。

IV. 確認事項

1. らぼニュース 10 月号掲載内容について

武山広報部長より以下の内容の確認があった。

巻頭言 平成 30 年度愛臨技学術部門の活動について 岡田副会長

輸血検査研究班 基礎講座に参加して

地区だより（尾張西）

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信（第 56 回）

上記に加え、検査と健康展、研究班原稿 2 件、春日井健康救急フェスティバルの感想原稿を掲載することとした。

V. 新入会審査

9 名の新入会審査を行い、入会を全員一致で承認した。

VI. 連絡事項

1. 来年度予算申請時の懇親会費について

石神会計部長より、来年度予算申請時に各地区懇親会費を上限の 50,000 円計上し、今年度まで組織部から申請されていた懇親会費は計上しないよう報告があった。

2. 祝賀会・懇親会の予算について

中根会長より、今後は事業計画に盛り込み、学会担当者と打ち合わせながら招待者費用も考慮し、概算を組織部予算に計上するとの報告があった。

平成 30 年 10 月 3 日

議 長：中根 生弥 

議事録署名人：中根 生弥 

平成30年度第7回理事会 議事録

日 時：平成30年10月3日（水）18：30～21：20
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：なし
理事定数：21名
出席理事数：21名
議 長：中根 生弥
書 記：柴田 典子
議事録署名人：中根 生弥、梶山 広美、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから、議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

9月5日 第6回理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺

9月12日 第2回学術部門会議

◎岡田、内田、菊地、鈴木、佐野

9月18日 第1回学術部会

◎岡田、内田、鈴木、神野

9月25日 全国「検査と健康展」事前会議

◎刑部、藤田、和出

10月2日 第1回基幹施設小委員会

◎菊地、佐野、内田

10月3日 藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床検査学科 臨地実習前客観的評価試験(OSCE)

◎岡田、内田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第6回執行理事会報告

中井副会長より9月26日に開催された第6回執行理事会について報告があった。

継続審議事項であった送付費用については従来通りヤマト運輸のクロネコDM便を利用する方向で再度価格交渉をすることとした。配送費用を節約するため施設に所属しているが日臨技HPの会員情報に所属施設名が未入力の会員に対し、施設名を登録してもらいたい。地区理事に対し地区運営会議で施設連絡責任者へ協力を依頼するよう指示があった。また、らぼニュースへも施設会員登録方法を掲載し会員の協力を求めることとした。

その他、日臨技の認定更新に必要な技師会活動に関する資格審査基準単位認定について、県学会マニュアルの更新、県学会でのAiCCLSの広報活動承認、三重県臨床検査技師会創立70

周年記念式典への中根会長出席、愛知県による立入検査の準備状況などが報告された。認定更新のための資格審査基準単位について会員に周知するののかとの質問があったが、日臨技 HP 内認定センター内に手続き方法が記載されているとのことであった。

(2) 中根会長

臨床検査技師の不幸事についてと、第68回日本医学学会事務局より愛臨技精度管理事業に関する発表の依頼があったと報告された。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

① 庶務部

- 9月 5日 診療放射線技師会記念式典に出席の回答を発送した。
- 9月 5日 修文大学からの要望書について回答書を発送した。
- 9月 5日 3月に開催される平成30年度愛知県臨床検査技師会 精度管理調査報告会及び特別講演会への講師派遣依頼書を発行し、発送した。
- 9月 7日 3月に開催される平成30年度精度管理調査報告会 会場使用の申込み書類を発行し、発送した。
- 9月 8日 医歯薬出版株式会社『学会案内』に第19回愛知県医学検査学会について回答した。
- 9月10日 第18回愛知県医学検査学会学術奨励賞候補のお知らせを発行し、発送した。
- 9月10日 12月に開催される平成30年度生物試料分析科学会の共催承諾書を発行し、発送した。
- 9月10日 10月に開催される岡山県臨床検査精度管理調査速報会の講師派遣の回答書を発行し、発送した。
- 9月13日 2018年度愛知県医師会請求明細書を発行し、発送した。
- 9月18日 9月に開催された一般検査研究班講演会の講師礼状を発送した。
- 9月20日 9月に開催された血液検査研究班講演会の講師礼状を発送した。
- 9月20日 第19回愛知県医学検査学会の後援依頼書を発行(4団体)し、発送した。
- 9月26日 9月に開催された病理細胞検査研究班基礎講座の講師礼状を発送した。
- 9月26日 11月に開催される生理検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 9月26日 10月に開催される多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の実務委員委嘱状を追加発行し、発送した。
- 9月27日 三重県検査技師会創立70周年記念式典に中根会長出席の回答を発送した。
- 9月 5日 平成30年度第1回役員推薦委員会を開催し、委員長、書記が決定した。

役員辞任届について(周知)

役員においては欠格事由が発生した場合、刑の執行前に辞任頂く必要がある(多いのが交通事故による禁固刑)。辞任届が準備してあるので、このような場合はすぐに提出していただきたい。この手続きが行われない場合は公益社団法人としての愛臨技が解散、財産没収となる。

② 会計部

石神会計部長より勤務日以外に技師会会務で自施設が会場の場合の交通費の支給については、勤務日以外は自宅から会場(自施設)まで支給する、勤務日は支給なしとする、と指示があった。その他、春日井市健康フェスティバル補助金が満額公布された、研究班が中部圏支部研修会を担当する場合、愛臨技で使用していない通帳を使用することとしたと報告があった。学術部および地区の活動状況および予算執行率の報告があった。基礎講座を開催した研究班の執行率は8割以上となっているが、これから開催予定の研究班では半期をすぎているが執行率は3分の1程度であるとのことであった。

(2) 学術部門

岡田副会長より9月12日(水)開催した第2回学術部門会議の報告があった。

精度管理事業について、分野によって試料代などの費用の差が大きく、参加費の見直し案が提案されたこと、AiCCLSの輸血検査から動画のHP掲載希望が出され、広報部と相談することとしたなどの報告があった。

① 学術部

内田学術部長より9月18日(火)平成30年度第1回学術部会の開催報告があった。平成30年度会計中間監査を行い、修正をして会計部長へ提出した。平成31年度予算案についても学術部内で審議し、修正して提出した。検査と健康展、スキルアップ研修会などについての決定事項が報告された。平成30・31年度中部圏支部学術部門員名簿の確認があり、修正して再度提出することとなった。中部圏支部部門員については研究班から推薦し、理事会承認後会長推薦として支部へ提出することを確認した。

② 精度管理事業部

菊地精度管理部長より9月28日 平成30年度愛臨技精度管理事業の総括統計表のWeb公開と、日臨技精度保証認証施設申請が10月1日より開始されたと報告があった。

(3) 渉外部門

① 各地区報告(地区活動報告および台風24号による被害状況の報告)

● 尾張北地区

9月19日 第3回地区運営会議を開催した。(参加:14施設15名)

基礎点が取得できる活動を増やして欲しい、災害時の伝達手段などのマニュアル整備、県学会実行委員会への関係部長の参加、懇親会の事前登録などの質問、提案があった。基礎点取得については海岸清掃などの活動は無くなったが、HIVボランティア・検査と健康展など企画は多数ある、災害時マニュアルについては組織部で検討するが、日臨技HPも参照してもらいたい、県学会実行委員会への出席は要請があれば出席すると前回決定済み、懇親会の事前登録については技師会で検討するとの回答であった。

● 尾張東地区

9月14日 第3回地区運営会議を開催した。(参加:10施設11名)

● 尾張南地区

9月19日 第3回地区運営会議を開催した。(参加:7施設8名)

● 西三河地区

9月18日 第3回地区運営会議開催した。(参加:10施設11名参加)

● 東三河地区

9月20日 第3回地区運営会議を開催した。(参加:7施設10名)

各地区とも被災状況を確認中ではあったが10月3日現在で被災報告はなし。

刑部組織部長より地区研修会の申請を開催月の3ヶ月前に提出し、らぼ原稿の準備も適時行うよう指示があった。

② 組織部

刑部組織部長より9月25日(日)全国「検査と健康展」事前会議の開催報告があった。検査コーナーと健康コーナーとし、検査技師紹介コーナーではひとつのテーマに沿ってクイズ形式で検査を体験してもらう。養成学校紹介コーナーは無し、健康コーナーでは骨密度、血管年齢等を実施し、臨床検査技師が検査結果の説明を行うこととした。スタッフボランティアをらぼ掲載で募集する。中井副会長よりボランティア以外でも参加者として会員の参加を呼びかけるよう依頼があった。

③ 広報部

武山広報部長より 10月1日「らぼニュース No.439」(10月号)を3,500部発行したと報告された。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会

ホームページ更新歴

8月28日 らぼニュース9月号の予約掲載

9月2日 AiCCLS ページの改修、平成30年度定時総会写真の掲載

9月3日 H30 後期日程の差替え

9月7日 行事イベント写真の更新

9月8日 輸血検査研究班 活動報告の掲載

9月13日 微生物検査研究班 9月研究会活動報告

9月15日 主な行事、行事イベント写真集の更新

(2) 基幹施設小委員会報告

菊地精度管理事業部長より 10月2日 第1回基幹施設小委員会の開催報告があった。議事録は後日提出。

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より 9月20日に平成30年度 AiCCLS 第2回実務委員会調整会議の開催報告があった。7月6日に開催した第1回理事会推進委員会の報告(役員選任、29年度事業・決算報告、30年度事業・予算案、30年度発刊物等について)と今後の発刊予定物(微生物検査部門、一般検査部門、遺伝子・染色体検査部門、輸血部門)について確認した。

6. 第19回愛知県医学検査学会第3回実行委員会報告

尾張東今井理事より 9月14日 第3回実行委員会開催報告があった。(参加:8施設12名)日付等の表示を元号変更の為西暦を使用することとし、メーリングリストとサイボウズを活用して情報共有することを確認した。

7. 日本臨床衛生検査技師会報告

梶山監事より 9月22日臨技理事会の報告がされた。

初級・職能開発講習会、認知症対応能力向上講習会、他職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会などの申請、開催状況、来年度以降の学会情報などの報告事項と、基幹施設精度管理事業調査の終了、医療法等の一部改正に伴う日臨技の対処方針、副支部長、支部学術部長及び学術部門員、臨床検査技師教育の見直し答申、被災会員への共済金支給及び会費減免などが承認されたと報告された。医療法一部改正に伴う日臨技からの支援については近日中にHPに雛形などが掲載される予定。

診療報酬改定に関する微生物検査実施コスト調査への協力依頼があり、豊橋市民病院、半田市民病院に協力を依頼することとした。

8. その他の報告事項

武山広報部長より、台風などで直前に技師会行事を中止する場合の手順について確認があった。担当者は業務分掌の担当部長へ連絡し、各部長から担当副会長へ提案、執行理事で決定し、広報部長にHPへの掲載を依頼することとした。

Ⅲ. 協議事項

1. 第6回理事会の議事録(案)の確認について

夏目庶務部長より、第6回理事会の議事録(案)の確認依頼があり、これを確認して修正などがあれば1週間程度をめどに庶務部長まで連絡することとし、全員一致で承認した。

2. 会員及び会費に関する規程の改定について
夏目庶務部長より会員及び会費に関する規程の改定案、賛助会員入会願兼入会申請書、賛助会員入会承諾書、賛助会員会員情報変更届、賛助会員退会届が提案され、全て全員一致で承認した。
必要な書式は愛臨技 HP に掲載することとした。
3. 組織運営規程の改定について
夏目庶務部長より組織運営規程第 2 章に公印についての記述を追加し、章・条ともに修正した案が提示され、記載方法などを修正し、改定について全員一致で承認した。
4. 臨床検査パネル貸出規則の制定について
夏目庶務部長より貸し出し規則案が提示され、全員一致で承認した。
5. 出納職員の任命書について
夏目庶務部長より経理規程に基づき作成された出納職員の任命書と様式案が提示され、全員一致で承認した。
6. 事務員通勤手当申請書について
夏目庶務部長より事務員通勤手当申請書案が提示され、全員一致で承認した。
7. 事務員給与について
中井副会長より平成 30 年 10 月 1 日より最低賃金が 871 円から 898 円に変更となるため、事務員の給料を値上げする方向で検討したいとの提案があった。全員一致でこれを承認した。
8. 第 30 回日本医学会総会 2019 中部（健康未来 EXPO 2019）サイボウズグループ作成申請について
中井副会長より表記企画に際し情報共有のためサイボウズ登録の提案があり、全員一致で承認した。
9. 生物化学分析検査研究班活動費の追加支給について
内田学術部長より生物化学検査研究班からの追加予算申請について説明があった。活動費を今年度 500 円と値上げしたこと、基礎講座における予定外の試薬代の支出による不足となり、概算の 100,000 円を追加予算として緊急的に支給申請があった。支払い期日が迫っていた為、執行理事にて審議し、追加支給とした。事後報告ではあったが、これを全員一致で承認した。
会計部長より参加費と開催費用とのバランスについて指摘があり、参加費の設定などについて考える必要性を提案された。岡田学術担当副会長より来年度の予算作成に際しては経費の 60-70% を参加費で徴収することとしていると報告があったが、分野によって試薬代などの金額差があるので難しい面もあるとのことであった。配布資料についても検討の必要性の指摘があった。
10. 献血血液等の研究開発等への使用に関する指針に基づく公募の実施について
内田学術部長より輸血班の基礎講座、精度管理用の例年と同じ申請があり、全員一致で承認した。
11. HE 染色の研究実施計画について
菊地精度管理事業部長より平成 28・29 年度調査で使用した HE 染色標本の画像データを用いた中部圏で行う研究について研究実施計画書が提出され、全員一致で承認した。
12. その他
 - (1) 医療安全に関する講演会の後援依頼について
夏目庶務部長より愛知県医師会からの医療安全に関する講演会への講演依頼について報告があり、全員一致で承認した。

IV. 新入会審査

- (1) 1名の新入会審査を行い、入会を全員一致で承認した。

VI. 確認事項

1. 初級・職能開発講習会・ニューリーダー育成講習会・管理運営研修会のらぼ原稿について
刑部組織部長より2月17日(日)開催の初級・職能開発講習会・ニューリーダー育成講習会・管理運営研修会について内容及びらぼ原稿、HP掲載原稿の確認依頼があった。
3つの講習会、研修会を同日開催とするが、初級・職能開発講習会・ニューリーダー育成講習会は事前登録制を取るためらぼ11月号に掲載とし、管理運営研修会。承認された。
2. 検査と健康展開催時の超音波診断装置借用について
刑部組織部長より表記の件について借用予定であるキヤノンメディカルシステムズの担当者より、趣意書があれば装置借用は無償で対応できると申し出があったと報告があり、趣意書が提出された。趣意書は執行理事会で確認されたと中井副会長より報告があり、庶務部長へ趣意書送付の指示があった。
NewYearパーティー開催案内のらぼ原稿案の確認依頼があり、掲載文面を締め切りまでに確定し、11月号掲載することとなった。
3. らぼニュース11月号掲載内容について
武山広報部長より以下の内容の確認があった。
巻頭言 第19回愛知県医学検査学会開催にあたり
基礎講座に参加して
地区だより(尾張北)
第19回愛知県医学検査学会のご案内・一般演題募集
らぼ原稿掲載可否の決定手順についての質問があり、確認があり、掲載依頼があれば担当者より執行理事あるいは理事会に提出し、確認、承認を経て掲載することが確認された。
4. 第19回愛知県医学検査学会について
尾張東・今井理事より以下の確認依頼があった。
(1) らぼニュース11月号巻頭言第19回県学会
(2) 開催趣意書送付のご案内
(3) 抄録テンプレート修正案
(4) 第7回理事会での審議事項 県学会
(5) 第19回県学会ポスター案
(6) 第19回県学会抄録集表紙案
(7) 様式6修正 第19回県学会 企業協賛開催趣意書案 改
(8) 様式12学会案内および演題募集 19Th (案)
岡田学術担当副会長より、いずれも執行理事会にて確認、承認済みと報告され、順次進めていくよう指示があった。また、ポスター案掲載内容の修正、使用画像の著作権、使用許可等の確認、抄録集表紙へのらぼのロゴ掲載、抄録テンプレートの用紙サイズの確認などの追加検討指示があった。今回から抄録集と会誌らぼを合体させ、学会実行委員会の負担を軽減させるため、企業展示、企業協賛は学会で募集し、広告協賛は愛臨技広報部で募集することが確認された。
5. 糖尿病療養指導研究会学術講演会の生涯教育申請について
夏目庶務部長より表記の件について確認依頼があり、全員一致で承認した。

V. 連絡事項

1. 結核研究奨励賞候補推薦について
夏目庶務部長より日臨技から表記の依頼があり、らぼへ掲載すると報告された。
2. 各種講習会等の開催案内について

夏目庶務部長より『医療安全に関するワークショップ』、『平成 30 年度医療機関における医療相談窓口担当者講習会』、『平成 30 年度たばこ対策指導者養成講習会』の開催案内の連絡がされた。

3. 平成 30 年度精度保証施設認証申請について

岡田学術担当副会長より、日臨技精度保証施設認証について、更新、申請が 10 月 1 日より開始していると報告された。認証対象施設でありながら認証未登録施設には別途連絡をする。登録施設数が増加することにより日臨技精度管理事業の価値が高まるので、認証施設登録の協力をお願いしたいとのことであった。精度管理事業部より今年度愛臨技精度管理事業参加施設(141 施設)には報告書送付時に案内をする。らぼニュース掲載も審議されたが、登録締め切りが 11 月 30 日と迫っているため今回は掲載しないこととした。

申請手続き、確認は日臨技精度管理調査システム (JAMTQC) 上で可能。

4. 平成 30 年度災害派遣技術研修会について

夏目庶務部長より表記研修会の案内連絡があった。中根会長より、愛臨技推薦として 1 名参加(費用を愛臨技で負担)させるとの報告があった。希望者、推薦者がいればサイボウズで報告し、執行理事会の承認で決定する。

5. 日臨技サーベイサポート事業について

菊地精度管理部長より、日臨技サーベイサポート事業として平成 30 年 11 月 18 日(日)に安保ホールにて開催する予定で企画をしていると報告があった。午前中は愛知県の精度管理結果検討会、午後日臨技サーベイサポート事業を行う。

6. 多職種連携講習会参加者募集について

鈴木理事より 10 月 27、28 日開催の表記講習会の参加申込者が非常に少ないので、参加を呼びかけるよう要請があった。申込締切は 10 月 20 日。

平成 30 年 11 月 7 日

議長：中根 生弥



議事録署名人：梶山 広美



議事録署名人：山崎 正夫



平成 30 年度第 8 回理事会 議事録

日 時：平成 30 年 11 月 7 日（水）18：30～21：20
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、
陪 席：なし
欠 席：今井、山崎監事
理事定数：21 名
出席理事数：20 名
議 長：中根 生弥
書 記：水野 義樹
議事録署名人：中根 生弥、梶山 広美

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから、議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

10 月 3 日 第 7 回理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事

10 月 16 日 第 5 回精度管理事業部会

◎岡田、菊地、佐野

10 月 24 日 愛知県公益認定等審議会立入検査

◎中根、中井、藤田、夏目、石神、柴田、水野、梶山監事

10 月 27 日、28 日 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会

◎鈴木、中根、中井、藤田、内田、神野

10 月 31 日 第 7 回執行理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、石神、和出

11 月 5 日 全国「検査と健康展」最終打ち合わせ

◎刑部、藤田、鈴木

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 7 回執行理事会報告

中井副会長より 10 月 31 日に開催された第 7 回執行理事会について報告があった。

第 30 回日本医学会総会 2019 中部 市民展示への参画について、担当者から説明を受け和出理事を実行委員長として予算増額、実務委員増員、企画など再度練り直すこととした。平成 30 年度第 7 回理事会 報告事項、協議事項、確認事項の内容確認について、カンボジア施設見学報告および米国シカゴ LUMC における研修報告のらぼニュース掲載を承認した。

(2) 中根会長

10 月 6 日 平成 30 年度日臨技中部圏支部輸血伝達講習会にて開会挨拶に出向いた。

10月 30日 AiCCLS調整会議に出席した。

(3) 岡田副会長

10月 30日 AiCCLS調整会議に出席した。

(4) 藤田副会長

10月 14日 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会事前会議に出席した。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

夏目庶務部長より10月 24日に愛知県公益認定等審議会立入検査を受検し、指摘事項はなかったが注意事項があったとの報告があった。

中井副会長より、愛知県公益認定等審議会立入検査にて受けた注意事項の中で即時対応可能なものに関する以下の報告があった。

議事録、各種会議等交通費・日当領収簿などに会議の終了時刻が記載されていないものがあるため、開催時刻を記載する文書については、必ず終了時刻を記載する。この際に、同一会議書類については記載時間が異ならないように注意し、監事監査前に部門長が最終チェックを行う。

各種事業の開催にあたり発生する関連文書について、1事業ごとにまとめて保管し、部門ごとに管理する。文書は企画から終了報告までを対象とし、要所となるものに加えパンフレットやテキストも対象とする。また、会計報告もすべて理事会にて報告する。

① 庶務部

夏目庶務部長より以下の報告があった。

10月 9日 12月に開催される愛知県医師会医療安全に関する講演会の後援承諾書を発行し、発送した。

10月 9日 12月に開催される微生物検査研究班講演会の講師依頼状を発行し、発送した。

10月 9日 12月に開催される生理検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。

10月 10日 11月に開催される全国「検査と健康展」開催の際の装置借用の趣意書を発送した。

10月 10日 地域ニューリーダー講習会参加者へのアンケート結果を今年度の参加者に発送した。

10月 10日 メディアリサーチセンターの雑誌新聞総かたろぐ 2019年版の掲載原稿（らぼニュースに関する内容）の校閲を行った。

10月 12日 10月 24日の県の立入検査の事前資料を発送した。

10月 16日 他施設の秘書（事務員）募集の当会 HP 掲載依頼について、断りの回答を行った。

10月 16日 日臨技より災害連絡責任者の確認依頼があり、中井副会長に変更の連絡をした。

10月 17日 11月に開催される遺伝子染色体検査研究班基礎講座の講師依頼状を発行し、発送した。

10月 22日 12月に開催される遺伝子染色体検査研究班講演会の講師委嘱状を発行し、発送した。

10月 22日 10月に開催された一般検査病理細胞研究班合同研究会の講師礼状を発送した。

10月 23日 11月に開催される全国「検査と健康展」の実務委員委嘱状を発行し、発送した。

10月 29日 2月に開催される平成 30年度スキルアップ研修会の講師依頼状を発行し、発送した。

10月 29日 平成 30年度災害派遣技師研修会の愛臨技推薦者について日臨技に回答した。

11月 1日 12月に開催される生殖医学検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。

11月 1日 12月に開催される輸血検査研究班講演会講師依頼状を発行し、発送した。

② 会計部

石神会計部長より、学術部および各地区の10月分会務報告書、会計執行状況について報告があった。予算執行率の高い研究班について指摘があり、内田学術部長より、一般検査と輸血検査については、本理事会協議事項にて追加予算申請を行うとの報告があった。また、会務報告書内に「メール審議」の記載があるが、サイボウズを活用してもらうようお願いがあった。

学術部、各地区の中間監査を実施したとの報告があり、各所への指摘事項内容について報告があった。研究班は、領収書と出納簿の日付違い、領収書の宛名間違い、年始の日付間違いの3点、地区は親睦会の参加者名簿がないことについて指摘があり、親睦会を開催し補助金を支出した場合には、必ず参加者名簿を作成し提出するようお願いがあった。また、指摘事項の多い地区へは、別途書面にて報告済みだが、特に領収簿について、サインではなく印鑑による捺印、古い書式ではなく最新の書式にて作成し提出、科目の違うものは領収書を分けて記載するよう指摘があった。また、消耗品領収証の但し書きについて事務用品ではなく品目の記載をするよう指摘があったとの報告があった。

精度管理事業部の中間監査は後日行うとの報告があった。

来年度予算案について、初めから新基準で作成し本理事会にて報告することとなったとの報告があった。提出された予算案を積み上げたところ予算超過をしているため、審議するとの報告があった。また、減価償却の対象となる物品の購入を予定している場合は、事前に連絡をお願いしますとの報告があった。

石神会計部長より来年度予算案に関する説明および質疑があった。来年度の収入見込みについて、会員数は新入会および退会を考慮し340名、賛助会員は3400名の会員数で試算。その他収入は、公的な助成金、基礎講座の入金を過去の実績から試算。県学会の収入については学会の予算書をもとに計算し、総額3,667,510円の収入が見込まれる。

支出については、最低賃金の上昇による事務員パート時給の値上げ、ヤマト運輸35%程度の値上げ、サイボウズの有料化による支出の増加が見込まれ、現状の予算案では赤字となる旨の報告があった。このため予算削減として、サービス向上した有料版サイボウズを利用した会議回数の削減依頼があった。また、基礎講座の予算について参加費の増加、テキストのダウンロード化による印刷代の削減など予算削減方法の検討依頼があった。基礎講座を2回予定している研究班について、参加費の増加や1回の基礎講座分の予算で2回開催する方法等の検討依頼があった。ただ、目的は予算の削減であり、必要な会議や基礎講座の回数を減らすことではないため、少ない予算で開催するための方法を検討いただくようお願いがあった。地区予算について、今年度予算より上回った金額を申請した地区から金額の上昇理由について質疑があった。

今後の予定として、各事業部長と削減案についての意見すり合わせを行い、同時に会計事務所からの意見もいただきながら11月20日までに予算案を完成させ、11月末の執行理事会へ提案した後、12月の理事会にて新基準にもとづいた来年度予算案の審議を行い、1月に最終確定するとの報告があった。

中井副会長より以下の内容について報告があった。通信費の切手の扱いについて、まとめて購入し余った切手が発生した場合は、年度末に愛臨技へ返却すること。来年度予算案内の交通費について、会議会場がある程度決まっているため、実際に則した金額を計算し申請するよう依頼があった。

(2) 学術部門

岡田副会長より、10月2日に藤田医科大学にて開催した2018臨地実習前客観的評価試験(OSCE)の大学側へ提出した報告書の提示があった。また、前回理事会にて承認されたOSCEの連携・協働について、藤田医科大学から愛臨技への文書が届いたため学術部を中心に検討することとし、具体案を作成し理事会に提出するとの報告があった。

① 学術部

内田学術部長より、10月14日多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の事前会議を春日井市民病院で開催し、10月27-28日に多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会を開催したとの報告があった。

10月31日に病理細胞・一般検査研究班合同研究会、微生物検査研究班基礎講座の日臨技推進事業決算報告が承認され、愛臨技へ微生物検査研究班基礎講座から45,000円、病理細胞・一般検査研究班合同研究会から50,000円の助成金が支払われたとの報告があった。

② 精度管理事業部

菊地精度管理部長より以下の報告があった。

10月16日に第5回精度管理事業部会を開催し、来年度事業計画と予算案、二次サーベイと結果検討会招聘施設についての確認、および関連文書発送の準備を行ったとの報告があった。本年度の招聘施設は化学27、免疫3、血液26、一般5、生理3、微生物5、細胞0、病理2、輸血7となった。

10月17日に精度管理関連文書を発送。10月18日に施設別報告書のWeb公開、参加証のWebダウンロードを開始。10月22日に化学、免疫の二次サーベイ申込みを締切り、化学10、免疫2の申込みを確認。10月24日に試料発送を行い、11月1日にJAMTQCでの二次サーベイ結果入力を締切り、現在は結果を解析中との報告があった。

11月18日に安保ホール5階501AB会議室にて結果検討会を日臨技サーベイ結果相談会と同日開催予定。現在の参加申し込み状況は、結果検討会22施設、日臨技サーベイ結果相談会17施設との報告があった。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張西地区

10月26日 第4回地区運営会議を開催した。(参加:9施設10名)

● 知多地区

10月18日 第4回地区運営会議を開催した。(参加:6施設6名)

② 組織部

刑部組織部長より、11月5日に「検査と健康展」第2回事前会議を行ったとの報告があった。当日のタイムスケジュールおよび会場レイアウトを用いた当日の参加者の流れについての説明があった。当日のボランティアについては27名の応募があり、全員採用することとした。参加者への配布物準備が380部であることに関して、参加者は300名程度と考えているとの報告があった。また、各施設にイベントへの参加呼びかけをお願いするよう依頼があった。

③ 広報部

武山広報部長より11月1日「らぼニュースNo.440」(11月号)を3,500部発行したとの報告があった。

武山広報部長より有料版サイボウズの利用に関して、サイボウズ利用にかかる年間総額によっては新たに新システムを作成した方が低コストになるのではないかと意見があり、中根会長より、サイボウズに限らずそれに見合った既存の情報伝達ツールの利用、新システムの作成も選択肢の1つと考えているが、有料版ツール利用の方向性も視野に入れ検討しており、全体の予算の中でシステムにどれだけあてがうことができるかも含め検討中。ただ、サイボウズ継承によるメリットも多いため、これらの意見も含め検討しているとの返答があった。

武山広報部長より、毎年、愛知県知事と愛知県健康福祉部保健医療局長宛に依頼している、らぼニュース年頭挨拶・写真の提供についての依頼文を発送するとの報告があった。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ更新歴

9月23日 生理検査研究班 11月研究会、カレンダー、下半期予定表を掲載

9月24日 生理検査研究班 下半期予定表、講演会募集締切

9月24日 微生物検査研究班 9月基礎講座アンケートを掲載

9月24日 病理細胞検査研究班 10月研究会、カレンダー掲載

- 9月 26日 第5回議事録の掲載
- 9月 27日 一般検査研究班 9月活動報告の掲載
- 9月 27日 HIV ボランティア写真追加
- 9月 30日 血液検査研究班 1月基礎講座
- 10月 1日 輸血検査研究班 11月研究会、カレンダー、班員変更
- 10月 8日 賛助会員の各種手続き、愛臨技規程の更新
- 10月10日 遺伝子・染色体検査研究班 9月活動報告の掲載
- 10月11日 生理検査研究班 10月講演会の予約投稿
- 10月15日 HIV ボランティア写真追加
- 10月21日 病理細胞検査研究班 9月10月活動報告の掲載
- 10月22日 一般検査研究班 10月活動報告の掲載

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より、10月30日にAiCCLS第3回実務委員会調整会議を開催し、内容について以下の報告があった。

発刊予定物（微生物検査部門、一般検査部門、遺伝子・染色体検査部門）について確認した。転載・使用許可要領整備について、来月のホームページ運営委員会へ提出しホームページ掲載を予定している。AiCCLS会議の交通費について、班会議後の開催時において交通費が支給されていない部門がみられるが、二重支給にならない限り交通費を支給することとし、過去に遡り支給することとなった。臨床化学ガイドラインのパブリックコメント募集が終了しコメントが2件ついたため研究班に検討依頼を行った。

Ⅲ. 協議事項

1. 第7回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より、第7回理事会の議事録（案）の確認依頼があり、これを確認して修正などがあれば1週間程度をめぐり庶務部長まで連絡することとし、全員一致で承認した。

2. 組織運営規程の改定について

夏目庶務部長より、立入検査にて注意があった組織運営規程第2章公印の項について修正案が提示された。修正内容としては、管理責任者と管理職員について定め、公印管理職員任命書を発行することとし、改定内容について協議し全員一致で承認した。

3. 事務用備品貸出申請書・許可書・返却届（案）について

夏目庶務部長より事務用備品貸出申請書・許可書・返却届（案）が提示され、内容について協議を行った。運用に関するルールや貸出可能な備品の範囲についての意見が多数あったため、運用ルールおよび備品リストを作成して、継続協議することとなった。

4. スキルアップ研修会における共催申請依頼について

内田学術部長より、2月3日に開催されるスキルアップ研修会のランチョンセミナー共催依頼について提示された。内容について協議した結果、文面の一部修正をすることとし、全員一致で承認した。

5. 一般検査研究班および輸血検査研究班からの追加予算申請について

内田学術部長より、一般検査研究班および輸血検査研究班における追加予算申請依頼が提示された。一般検査研究班からは、今後予定されている研究会および班会議の支出を概算すると11,290円不足する見込みとの申請があった。輸血検査研究班からは、今後予定されている研究会および班会議の支出を概算すると、45,605円不足する見込みとの申請があった。

申請理由および不足原因について協議し、更なる不足が発生した場合のデメリットも考慮し、一般検査研究班には20,000円追加支給、輸血検査研究班には50,000円追加支給することを全員一致で承認した。また、同時に学術部長より研究班ヘテキスト代や会場費などの経費削減案について

での助言を依頼した。

6. 認知症対応力向上講習会 B による日臨技への請求書と予算案提出について
内田学術部長より、日臨技認定センターへ提出する登録申請書と予算書が提示され、内容について協議し全員一致で承認した。
7. 精度管理事業データを使用した演題発表許可伺いについて
菊地精度管理事業部長より、第 68 回日本医学検査学会への精度管理事業データを使用した演題発表の許可申請があった。抄録が提示され内容について協議し、所属に関する修正を指摘し全員一致で承認した。
8. 日臨技精度管理サポート事業について
菊地精度管理事業部長より、日臨技精度管理サポート事業のプログラムと収支、行事登録、施設案内文の提示があり、内容に関して協議を行い、予算についても前年度に承認されていることから全員一致で承認した。
9. 初級・職能開発講習会、都道府県ニューリーダー育成講習会における共催申請依頼について
刑部組織部長より、2月17日に開催される上記講習会のランチョンセミナー共催申請依頼書が提示され、内容に関して協議を行い全員一致で承認した。
10. 平成 31 年愛知県医学検査学会抄録・会誌らぼの広告募集について
武山広報部長より、平成 31 年愛知県医学検査学会抄録・会誌らぼへの広告募集依頼が提示され、全員一致で承認した。
11. 第 30 回日本医学会総会 2019 中部の愛臨技 HP への外部リンク申請について
武山広報部長より、愛臨技 HP へ第 30 回日本医学会総会 2019 中部への外部リンク挿入について申請があり、全員一致で承認した。
12. 多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会報告について
鈴木理事より、多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の決算書と報告書が提示され、内容について報告があった。決算書について、愛臨技からの助成分が 192,496 円と高額となった。様々な問題点があがったが、今後も継続していくために日臨技へ要望書としてまとめて報告することとし、決算書と報告書について全員一致で承認した。
13. 日本血小板・顆粒球型ワークショップからの協賛申請依頼について
中井副会長より、日本輸血細胞治療学会内の日本血小板・顆粒球型ワークショップから研修会の協賛依頼がありらぼニュース掲載申請書、らぼニュース原稿、協賛申請書、予算書が提示された。協賛規定および内容について説明、協議し全員一致で承認した。

IV. 新入会審査

- (1) 5 名の新入会審査を行い、入会を全員一致で承認した。

VI. 確認事項

1. らぼニュース 12 月号掲載内容について
武山広報部長より以下の内容の確認があった。
巻頭言 精度管理事業部の活動について
基礎講座に参加して（病理細胞）
短期留学研修会報告
地区だより（尾張南）

研究会

AiCCLS (第 57 回)

上記に加え、地域ニューリーダー講習会、多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の掲載を予定している事を確認した。

V. 連絡事項

1. 2019 年 5 月 18 日 第 68 回日本医学検査学会生物科学部部門シンポジウムでのシンポ講演依頼について
菊地精度管理事業部長より第 68 回日本医学検査学会生物科学部部門シンポジウムでのシンポ講演依頼について、精度管理事業部事務局員の寺田達夫技師を推薦するとの報告があった。
2. 日臨技主催平成 30 年度災害派遣技師研修会の都道府県推薦受講者について
藤田副会長より平成 30 年度災害派遣技師研修会の都道府県推薦受講者について、JA 愛知厚生連知多厚生病院 迫 欣二技師を推薦することとしたとの報告があった。また、中根会長より費用は愛臨技にて負担するとの報告があった。
3. 日臨技精度管理責任者育成講習会のお知らせについて
夏目庶務部長より、日臨技からの e ラーニングによる精度管理責任者育成講習会の開講、および標準作業書および作業日誌または台帳関係雛形の開示に関するお知らせの報告があり、各施設への周知を依頼された。
4. 平成 30 年度全国幹事連絡会での質問事項提出について
中根会長より愛臨技から日臨技への提案があれば、1 月の全国幹事連絡会議へ提出するとの報告があった。多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会への要望事項を提出することとなり、また、他に要望があれば次回理事会時に提案することとなった。
5. 自宅会員への資料発送について
中井副会長より、前回理事会にてお願いした、配送費用節約のための施設に所属している自宅会員への施設会員切り替えについて、今月の配送数が減っていないため再度周知をするよう依頼された。まずは各理事の施設内会員について調査および切り替えをお願いし、効果が現れるようであればニュースへの掲載を行っていきたいとの報告があった。また、今後、自宅送付の場合における郵送費負担なども含め検討していくこととなった。
6. 平成 31 年愛知県医学検査学会抄録・会誌らぼの掲載内容について
武山広報部長より会誌らぼの掲載内容について、第 18 回愛知県医学検査学会学術奨励賞論文の掲載をおこない、研究班行事実績は HP へ掲載とし、施設業績は一部施設であるため掲載しないとの提案があった。しかし、会誌らぼは公益社団法人としての記録という目的もあるため、これらも考慮し、広報部で原案の作成を行うこととなった。
7. 講習会遅刻早退者への対応について
鈴木理事より多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会におけるアンケートコメント内に、遅刻早退者への修了証発行に関するクレームがあったとの報告があり、今後の対応について検討を行った。修了証を発行する行事についての対応を、學術部を中心にルール作成を行うこととなった。
8. 第 30 回日本医学会総会 2019 中部 市民展示の概要と進捗状況について
和出理事より、第 30 回日本医学会総会 2019 中部 市民展示の企画案の提示と内容の説明があった。イベントの規模が大きいことが発覚したため、ボランティア募集も含め學術部に協力を依頼し、規模や他の医療系職能団体の参加等を考慮しながら、実行委員会にて企画を固めていきたいと考えているとの連絡があった。

平成 30 年 12 月 5 日

議 長：中根 生弥 

議事録署名人：梶山 広美 

平成 30 年度第 9 回理事会 議事録

日 時：平成 30 年 12 月 5 日（水）18：30～21：00
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：鈴木、梶山監事
理事定数：21 名
出席理事数：20 名
議 長：中根 生弥
書 記：柴田 典子
議事録署名人：中根 生弥、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

11 月 7 日 第 8 回理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事

11 月 14 日 スキルアップ研修会実行委員会

◎内田、岡田、鈴木、神野

11 月 15 日 認知対応力向上講習会 B 第 1 回打ち合わせ会議

◎岡田、内田、鈴木

11 月 18 日 全国「検査と健康展」

◎刑部、中根、藤田、鈴木

11 月 18 日 平成 30 年度愛知県臨床検査精度管理調査結果検討会&日臨技サーベイ結果相談
会、第 6 回精度管理事業部会

◎菊地、岡田、佐野、内田、石神

11 月 24 日、25 日 平成 30 年度 日臨技中部圏支部 医学検査学会（第 57 回）

中根、中井、岡田、藤田、石神、内田、刑部、柴田、神野、中村

11 月 28 日 執行理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、石神

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 8 回執行理事会報告（中井副会長）

中井副会長より 11 月 28 日に開催された第 8 回執行理事会について報告があった。

『日臨技組織強化のための理事構成等の見直しについて（答申）』についての意見が求められたので、入会時の日臨技と地臨技との連携システム、地臨技での情報共有ツールの使用、日

臨技主催の地臨技での開催行事依頼についての3点を意見として提出する。また、事務所の水道水の水質が悪く飲用に適さないため、飲料水の購入またはウォーターサーバーの設置を検討するとのことであった。

(2) 中根会長

- 11月23日 中部圏支部幹事会に出席した。
- 11月24日 中部圏支部医学検査学会記念式典に出席した。
- 11月25日 連盟ブロック会議に出席した。
- 11月25日 三重県臨床検査技師会創立70周年記念式典に出席した。
盛大な会で出席者、来賓共に多く、また若手の参加者が多く、組織力の高さを感じた。

(3) 中井副会長

- 11月24日 中部圏支部医学検査学会記念式典に出席した。

(4) 岡田副会長

- 11月24日 中部圏支部医学検査学会記念式典に出席した。
- 11月25日 連盟ブロック会議に出席した。

(5) 藤田副会長

- 11月24日 中部圏支部医学検査学会記念式典に出席した。
- 11月25日 愛知県診療放射線技師会法人設立30周年記念式典に会長代行として出席した。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

尾張東地区より2名の会員の被災会員届が提出されたので日臨技へ提出した。見舞金の支給があるかどうかは日臨技の審議後決定される。

① 庶務部

- 11月6日 10月に開催された平成30年度多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の講師礼状を発行し、発送した。
- 11月6日 1月に開催される遺伝子染色体検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 11月14日 2月に開催される医療安全に関する講演会の後援承諾書を発行し、発送した。
- 11月14日 2団体（愛知県医師会・愛知県病院協会）と4社（アルフレッサ・カーク・シスメックス・スズケン）にお歳暮を発送した。
- 11月15日 10月に開催された多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の看護協会への報告書を発送した。
- 11月15日 1月に開催される平成30年度日本血小板・顆粒球型ワークショップ研修会の協賛承諾書を発行し、発送した。
- 11月15日 2月に開催される平成30年度スキルアップ研修会の特別講師依頼状を発行し、発送した。
- 11月20日 12月に開催される病理細胞検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 11月30日 1月に開催される尾張北地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 11月30日 1月に開催される知多地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 11月30日 1月に開催される尾張南地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 11月30日 2月に開催される西三河地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 11月30日 11月に開催された遺伝子染色体検査研究班基礎講座の講師礼状を発行し、発送した。
- 11月30日 11月に開催された生理検査研究班研究会の講師礼状を発行し、発送した。

② 会計部

石神会計部長より学術部、各地区の11月分会務報告書および会計執行状況について報告があり、報告書提出が遅れると理事会に提出資料の準備が間に合わないため早めに提出するよう依頼があった。学術部の活動状況では、生物化学班、輸血班に活動費の追加支給がされ、血液班は大きな行事が今後あるためまだ執行率が低い。地区の活動はほぼ問題なく執行されているとのことであった。

精度管理事業部の中間監査を実施した。金額については問題ないが会計区分の間違いがあり、事務局の方へお知らせするとのことであった。

精度管理事業部、学術部から予算修正案を提出いただいた。11月28日第8回執行理事会に出席し、各部門の予算の申請状況の報告と、平成31年度予算案を提示した。

日臨技から申請事業助成金、精度管理サポート事業助成金、他職種連携能力開発講習会助成金の振込み連絡の報告がされた。

(2) 学術部門

① 学術部

内田学術部長より11月14日に開催されたスキルアップ研修会第2回実行委員会の報告がされた。各症例の講演を依頼した方へ出席していただき、内容、進行方法などについて検討した。また、テキストについては内容、印刷方法を検討し費用削減の方向で考えているとのことであった。特別講演演者の変更になるとの報告があり、既にらぼニュースで広報済みのため、らぼニュースあるいは愛臨技ホームページ上で変更のお知らせをすることとした。

11月15日に開催された認知症対応力向上講習会B開催による事前会議の報告があり、平成31年2月17日(日)に名古屋医療センターにて開催することが報告された。

② 精度管理事業部

菊地精度管理部長より11月18日開催した平成30年度愛知県臨床検査精度管理調査結果検討会と日臨技サーベイ結果相談会の報告がされた。愛臨技サーベイ結果検討会は、対象施設64施設(参加総数141施設)のうち、21施設27名(うち非会員2名)の参加、日臨技サーベイ結果相談会では24施設37名の参加であり、事業部員・基幹施設担当者・研究班班員を含め参加者総数89名であった(参考:平成29年度、参加施設31施設42名)。

結果検討会終了後、第6回事業部会を開催し、結果検討会での各部門の対応と総評および総括集のスケジュール確認を行った。日臨技相談会と愛臨技の検討会の同日開催は概ね好評であり、来年度以降も続けていきたいとの意見が多かった。

今年度の精度管理事業報告会・講演会は平成31年3月10日(日)、名古屋第一赤十字病院にて開催すると報告があった。また、協議の結果、部会資料の電子化をすることが決定し、また総括集の電子化、二次サーベイの実施、全研究班での精度管理事業の実施について検討しているとのことであった。

2019年5月18日 第68回日本医学検査学会生物科学部部門シンポジウム講師の寺田達夫技師(愛知医科大学病院/精度管理事業部事務局員)からの抄録内容確認依頼を執行理事会に依頼した。

岡田副会長より総括集の電子化については問題がなければ進めて欲しいとの発言があった。

(3) 渉外部門

① 各地区報告(親睦会開催状況確認)

● 尾張北地区

11月21日 第4回地区運営会議を開催した。(参加:12施設13名)

● 尾張東地区

11月9日 第4回地区運営会議を開催した。(参加:10施設11名)

● 尾張南地区

- 11月21日 第4回地区運営会議を開催した。(参加：7施設8名)
11月21日 尾張南地区勉強会「輸血拒否への対応」を開催した。(参加：7施設16名)

● 西三河地区

- 11月20日 第4回地区運営会議を開催した。(参加：12施設13名)

● 東三河地区

- 11月15日 第4回地区運営会議を開催した。(参加：7施設9名)

中根会長より各地区の親睦会の開催状況について問い合わせがあり、会計の締切のためできるだけ2月中までに開催するよう依頼があった。

② 組織部

刑部組織部長より11月18日(日)『検査と健康展』の開催報告があった。述べ1,781名と多くの方に参加していただき、また実務委員も例年より多かったため休憩も取れ、予算内で無理なく開催することができたとの報告があった。今年度の経験を踏まえ来年度も計画していきたいとのことであった。なお、名古屋市内の保健所に勤務している看護師の方からこのような企画をしたい場合、手伝ってもらえるかとの問い合わせがあったと報告があった。管理運営研修会の開催案内があり、ニューリーダー研修会、初級・職能開発講習会と同日の平成31年2月17日(日)午後、愛知県臨床検査技師長協議会と共催で開催する。内容はより良い臨床検査技師教育にポイントを置き、“藤田医科大学における臨床検査技師教育”と“豊田厚生病院における臨地実習への取組み”の2つの講演を企画した。研修会当日朝、宮島会長が参加されるかもとの事で、多数の参加を呼びかけて欲しいとの依頼があった。

③ 広報部

- 12月1日 「らぼニュースNo.441」(12月号)を3,500部発行した。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より遺伝子・染色体検査研究班の担当者の交代のためフォロー中との報告があった。

ホームページ更新歴

- 10月26日 一般検査研究班 1月中部圏支部研修会の掲載
10月29日 らぼニュース11月号、NewYear、初級・職能、ニューリーダーの予約掲載
10月30日 生殖医学検査研究班 12月研究会、カレンダー掲載
11月1日 生理検査研究班 中部圏支部研修会、12月研究会、カレンダー掲載
11月1日 輸血検査研究班 12月研究会、カレンダー掲載
11月1日 血液検査研究班 1月基礎講座、カレンダー掲載
11月2日 AiCCLS ページの編集
11月4日 微生物検査研究班 12月講演会、カレンダー掲載
11月7日 遺伝子・染色体検査研究班 12月講演会、カレンダー掲載

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告(佐野理事)

岡田副会長より「AiCCLS 転載・使用許可要項」と「AiCCLS 転載・使用許可願い」のHP掲載についての確認があり、全員一致で掲載を許可することとした。

6. 第19回愛知県医学検査学会第4回実行委員会報告

尾張東・今井理事より11月9日 第4回実行委員会(参加：7施設11名)の報告と企画書の提出がされた。審議事項などはサイボウズ上で適時進めているため特に問題なく進行しているとの報告であった。

武山広報部長より名古屋市より依頼のあった再生紙に使用に関し、努力目標ではあるが、抄録集

で再生紙を使用するのであれば1ヶ月前には印刷会社に連絡が必要との事であった。料金は変わらないとの事であったが、まずサンプルを取り寄せ仕上がり具合を確認してから使用の可否を決定することとした。

7. 日本臨床衛生検査技師会報告

(1) 中部圏支部幹事会報告

中根会長より11月23日に開催された平成30年度日臨技中部圏支部幹事会報告がされた。支部研修会は愛知県主催の研修会は既に終了している。支部内学術部門での情報共有のためメール配信などを利用し、日臨技から支部へ、各県へと行きわたるようにする。検体採取等に関する指定講習会の受講率は愛知県75.8%と目標(70%以上)は達成しているが、来年度から開催回数が減るため早めに受講するようとの報告があった。JCCLS共有基準範囲の採用について、各県大きな差異はないが、愛知県の動向が注目されているとの事であった。精度管理者責任者については是非e-ラーニング登録をして有効利用してほしい。

日本医学検査学会の予定が以下の通り報告された。

第68回日本医学検査学会(2019年5月18-19日 中四国支部(下関市民会館))

第69回日本医学検査学会(2020年4月25-26日 北日本支部(仙台国際センター))

第70回日本医学検査学会(2021年 九州支部(福岡 内定))

中部圏支部学会の予定が以下の通り報告された。

第58回中部圏支部医学検査学会 2019年10月12日(土)13日(日)長良川国際会議場

第59回中部圏支部医学検査学会 2020年10月31日(土)11月1日(日)富山国際会議場

III. 協議事項

1. 第8回理事会の議事録(案)の確認について

夏目庶務部長より第8回理事会の議事録(案)の確認依頼があり、修正などがあれば1週間程度をめどに庶務部長まで連絡することとし、全員一致で承認した。

2. 衛生検査所・地区委員会調査指導員の推薦について

中井副会長より日臨技「衛生検査所・地区委員会調査指導員選考規程」に則り、愛臨技副会長 岡田 元氏、JA 愛知厚生連江南厚生病院 臨床検査科技師長 舟橋 恵二氏の両氏を推薦する案が提示され、全員一致でこれを承認した。

3. 平成31年度予算案について

石神会計部長より平成31年度予算案について提示、説明があった。

今年度の実績を踏まえ、支出については各部に削減案を依頼し、執行理事会にて審議して計上した。

コピー機の使用料について高額ではとの質問があり、サポート料が高額であること、出来るだけ資料の印刷削減などが必要ではと中根会長より発言があった。赤字予算について質問があり、らばニュースの発行間隔の変更による印刷代、配送代の削減など経費削減が必要との意見もあった。来年度サイボウズの使用については決定かとの質問があり、有料サイボウズの使用の場合の金額は不可能な金額であること、有料機能を使いこなせるか等不確定な部分があるため、利用できる間は利用することとのことであった。最終確認は1月の理事会で行うこととなった。

4. 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度の更新指定講習会としての日臨技認定センターへの申請について

菊地精度管理事業部長より下記2企画を「分割型A群5単位」として日臨技認定センターへ申請することの承認依頼があった。

①「平成30年度愛知県臨床検査精度管理報告会および特別講演会」の特別講演会の部分

②平成31年2月2日 生物化学検査研究班研究会「精度管理報告会」

申請者名の変更指示があったが、いずれも全員一致で承認した。

5. 2019年度都道府県精度管理調査における日臨技精度管理調査試料（臨床化学）の使用について
菊地精度管理部長より日臨技精度管理調査資料の使用申込をしたいとの審議依頼があった。例年通りであり、全員一致でこれを承認した。申し込みは夏目庶務部長より行う。
6. 認知対応力向上講習会 B への後援申請について
岡田副会長より愛知県医師会、愛知県病院協会、国立病院臨床検査技師協会へ後援申請を依頼したいとのことでこれを全員一致で承認した。
7. 日臨技各賞受賞候補者の推薦について
夏目庶務部長より各賞受賞候補者の推薦依頼があった。日臨技の締切が 2/8 であり、1 月の理事会で承認したいので、該当者がいれば理事サイボウズに知らせることとした。研究班など広く候補者を出して欲しいとのことであった。
8. 第 61 回全日本病院学会 in 愛知後援名義依頼について
夏目庶務部長より全日本病院学会より後援名義依頼があった。初めてであるが全員一致でこれを承認した。
9. その他
中根会長より 12 月 1 日施行の医療法の一部改正についてクリニックなど小規模の施設での運用に対し、愛臨技として協力をする必要があると考えていきたいと発言があった。

IV. 確認事項

1. 平成 31 年度 日臨技永年職務精励者表彰者（愛知県 73 名）について
夏目庶務部長より日臨技より上記表彰者名簿が届いた。愛臨技でも総会、祝賀会での表彰対象者となるとのことであった。
2. らぼニュース 1 月号掲載内容について
武山広報部長よりらぼニュース 1 月号掲載内容の報告があった。
巻頭言 年頭挨拶
大村秀章（愛知県知事）、松本一年（健康福祉部保健医療局長）、中根生弥（愛臨技会長）
基礎講座へ参加して（遺伝子・染色体）
平成 30 年度全国「検査と健康展」に参加して
地区だより（知多地区）
AiCCLS（第 57 回）
平成 30 年度愛知県臨床検査精度管理調査結果検討会報告
日臨技サーベイ結果相談会報告
認知症対応力向上講習会
管理者研修会
※ 年末年始の都合により、原稿締切 12/7、納品 12/26 までの予定となります。
地区理事に地区だより原稿を依頼してあるが、早めに原稿を提出してもらおうと随時掲載していくので協力依頼があった。

V. 連絡事項

1. 藤田副会長より法改正に関して疑義照会など愛知県からも情報が来ており、愛臨技ホームページに掲載しているので各地区でお知らせし、参考にしてくださいとのことであった。
2. 岡田副会長より客観的臨床対応能力試験（OSCE）の進捗状況について報告があった。
1 月ぐらいに各研究班（遺伝子染色体、生殖班以外）から適任者を選任してもらい試験内容など

について8月くらいまでに藤田医科大学で協議してもらおう。試験の立会いは愛臨技より1-3名。

3. 和出理事より医学会総会におけるEXPO2018中部の進捗状況の報告がされた。
前回の報告事項からの変更点として検体採取の実技、医師による健康相談企画は中止、臨床検査全般に関する相談なら可能とのことで梶山幹事と相談する。また、準備を含めて10日間、全国規模の大きなイベントであり、実務委員の確保が難しいが、理事の協力が必要とのことであった。
進捗状況はサイボウズで報告される。
4. 刑部組織部長より平成31年1月18日(金) New Year Partyへの参加依頼があった。12月28日締め切り、FAXあるいはメールにて申し込みができる。

VI. 新入会審査

- (1) 平成30年12月度 新入会員なし

平成31年1月9日

議長：中根 生弥



議事録署名人：山崎 正夫



平成 30 年度第 10 回理事会 議事録

日 時：平成 31 年 1 月 9 日（水）18：30～21：00
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：鈴木
理事定数：21 名
出席理事数：20 名
議 長：中根 生弥
書 記：水野 義樹
議事録署名人：中根 生弥、梶山 広美、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

12 月 5 日 医学会総会 EXPO2019 中部第 1 回実行委員会

◎和出、中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、刑部、武山

12 月 5 日 第 9 回理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、山崎監事

12 月 5 日 藤田医科大学 OSCE 実施打ち合わせ

◎中根、岡田、内田、刑部

12 月 25 日 スキルアップ研修会第 3 回実行委員会

◎岡田、内田、鈴木、神野

12 月 26 日 第 9 回執行理事会

◎中根、中井、岡田、藤田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 9 回執行理事会報告（中井副会長）

中井副会長より 12 月 26 日に開催された第 9 回執行理事会について報告があった。

日臨技各賞、福見秀雄賞、小島三郎賞の推薦について、今年度は該当者なしとした。事務所のウォーターサーバーについて、設置の方向で進めることとした。愛知県健康福祉部、愛知県医師会、愛知県病院協会への新年の挨拶を 1 月 8 日に行ったとの報告があった。

(2) 中根会長

12 月 5 日 藤田医科大学にて OSCE 実施に向け打ち合わせに出席した。

1 月 8 日 愛知県医師会、愛知県病院協、愛知県健康福祉部会へ出向き新年の挨拶を行った。

- (3) 中井副会長
1月8日 愛知県医師会、愛知県病院協、愛知県健康福祉部会へ出向き新年の挨拶を行った。
- (4) 岡田副会長
12月5日 藤田医科大学にて OSCE 実施に向け打ち合わせに出席した。
1月8日 愛知県医師会、愛知県病院協、愛知県健康福祉部会へ出向き新年の挨拶を行った。
- (5) 藤田副会長
1月8日 愛知県医師会、愛知県病院協、愛知県健康福祉部会へ出向き新年の挨拶を行った。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より10月24日に実施された公益法人立入調査について、愛知県公益認定等審議会より運営組織および業務活動は概ね良好との評価が得られたとの報告があった。
12月31日をもってTikiのメールアドレスが利用不可となったが、一部に利用している形跡がありエラーが確認されたため、利用しないよう再周知のお願いがあった。郵送費削減について、自宅会員向けの勤務先登録のお願い文書を作成しらばニュース1月号以降同封することとしたとの報告があり、文書を確認し数か月同封することとなった。また、再度地区運営会議を通じて周知するよう依頼があった。

① 庶務部

- 12月 2日 平成31年度都道府県技師会の会費設定を行った。
- 12月 7日 日臨技精度管理試料（臨床化学）使用申込書を発行し、発送した。
- 12月 7日 2019年2月に開催される認知症対応力向上講習会Bに対する後援依頼状を発行し、発送した。（国立病院臨床検査技師協会 東海北陸支部）
- 12月10日 2019年9月に開催される第61回全日本病院学会 in 愛知の後援承諾書を発行し、発送した。
- 12月10日 2019年2月に開催される認知症対応力向上講習会Bに対する後援依頼状を発行し、発送した。（愛知県医師会と愛知県病院協会）
- 12月11日 2019年1月に開催される生理検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 12月12日 2019年1月に開催される血液検査研究班基礎講座の講師依頼状と実務委員委嘱状を発行し、発送した。
- 12月13日 2019年2月に開催される生物化学分析検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 12月13日 2019年2月に開催される微生物検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 12月13日 12月に開催された輸血検査研究班講演会の講師礼状を発行し、発送した。
- 12月18日 年賀状を発送した（117件）。
- 12月20日 2月に開催される尾張西地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 12月20日 2月に開催される平成30年度スキルアップ研修会の講師変更に伴う講師依頼状を発行し、発送した。
- 12月21日 2月に開催される一般検査研究班研究会の講師依頼状を発行し、発送した。
- 12月21日 12月に開催された遺伝子染色体検査研究班講演会の講師礼状を発行し、発送した。
- 12月21日 12月に開催された病理細胞検査研究班研究会の講師礼状を発行し、発送した。
- 12月25日 1月に開催される尾張東地区研修会の講師依頼状を発行し、発送した。

夏目庶務部長より12月14日に開催された医療安全に関する講演会について、愛知県医師会からの報告により臨床検査技師の参加が無かったことが判明したとの報告があった。中井副会長より、後援しているイベントは積極的に参加するよう地区への周知依頼があった。

② 会計部

石神会計部長より学術部、各地区の12月分会務報告書および会計執行状況について報告があり、学術部の執行率は概ね良好に執行されており、地区についてはこれから研修会を控えているため、執行率の低い状況となっているとの報告があった。12月10日に一般検査、輸血検査に追加支給を行ったが追加支給の手順が決まっていないため、今後作成していく。東三河地区研究会の支払調書が発行されていなかったとの報告があり、今後、地区理事間での引継ぎ時に行事の必要書類等も忘れず行うよう依頼があった。来年度予算について、2月の理事会にて協議事項として収支予算書内訳表を提示するとの報告があった。

(2) 学術部門

岡田副会長より日臨技からの基幹施設廃止の案内について報告があった。愛臨技の対応については今後検討することとし、地区運営会議にて愛臨技にてサポートが必要な事があるか確認の依頼があった。

① 学術部

内田学術部長より12月25日に開催されたスキルアップ研修会第3回実行委員会について、特別講演の講演者変更と第1回リハーサルの実施報告があった。また、参加申し込みがまだ少ないため参加周知依頼があった。遺伝子染色体検査研究班基礎講座、輸血検査研究班講演会の日臨技推進事業決算報告が12月27日に承認され、輸血検査研究班講演会50,000円、遺伝子染色体検査研究班基礎講座38,000円の助成金が愛臨技へ支払われたとの報告があった。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張西地区

12月21日 第5回地区運営会議を開催した。(参加：8施設9名)

● 知多地区

12月20日 第5回地区運営会議を開催した。(参加：7施設8名)

② 組織部

和出理事より12月5日に開催された医学会総会 EXPO2019 中部第1回実行委員会の報告があった。

刑部組織部長よりVCT事業ボランティア募集に関するらぼ原稿の提示があった。団体から、来年度以降TPHAも同時測定して欲しいとの依頼があり、理由は重複感染が増えている事、HIV検査が減少している事、梅毒検査の実施による受診者の増加が見込める事、東京・大阪ではすでに実施されている事などと説明があった。予算は全て団体が持つこととなるため特に問題はないが、検査キットの検討を開始するとの報告があった。らぼ原稿については、検査項目にTPHAの内容を加えて広報部長へ提出することとなった。1月18日のNew Year Partyについて報告があり、参加申し込み者数は226名(会員114名、賛助会員112名)となったとの報告があった。2月17日開催予定の初級・職能開発講習会、都道府県ニューリーダー育成講習会、管理運営講習会の合同開催について、参加申し込みが少ないため参加周知依頼があった。

③ 広報部

1月4日 「らぼニュース No.442」(1月号)を3,500部発行した。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ更新歴

11月28日 HIVボランティア写真追加

11月29日 らぼニュース12月号、スキルアップの予約掲載

- 12月1日 血液検査研究班 基礎講座の締切
- 12月3日 スキルアップ修正、地区研修会、カレンダー掲載
- 12月3日 医療法一部改正に関する情報の掲載
- 12月4日 生理検査研究班 1月研究会、カレンダー、10月活動報告の掲載
- 12月4日 病理細胞検査研究班 12月研究会、カレンダー掲載
- 12月4日 輸血検査研究班 活動報告、班会議事録、活動報告、アンケート結果を掲載
- 12月5日 遺伝子・染色体検査研究班 11月活動報告、1月研究会、カレンダーの掲載

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より12月12日に開催したAiCCLS第2回実務委員会について報告があった。各部門の活動状況、理事会議題ならびに理事会提出予定である臨床化学・微生物・遺伝子検査部門の発行物の最終確認を行ったとの報告があり、議事録をもとに内容について確認した。愛臨技ホームページからの問い合わせ事項に関して、担当研究班に返答の作成依頼を行い現在は内容について協議中との報告があった。

6. 日本臨床衛生検査技師会報告

- ・2020年度 診療報酬改定に向けた検査実施コスト調査について
中根会長より、期日が迫っていたため500床以上2施設、100床以上2施設、100床以下2施設を個別に依頼し、日臨技へ提出したとの報告があった。
- ・平成30年度他団体との連携研修会について
中根会長より、以下2つの日臨技企画研修会について紹介と参加周知依頼があった。
 - ① 臨床検査技師のための臨床研究とCRCに関する研修会
 - ② 糖尿病療養指導における臨床検査技師の活躍のために
- ・平成31年度検体採取の講習会（最終企画）について
愛知県は他府県からの参加者が多いことが見込まれるため、残り3回の開催となったとの報告があった。7月、9月、2月が予定されているが、日程の詳細は未定。
- ・多職種連携講習会について
梶山監事より愛知県に課せられていた100名の割り当ては、適切な講習会を開催するためには難しいと判断され、割り当て人数はなくなるとの報告があった。

7. その他の報告事項

- ・医療法の一部改正に伴う、医師会の対応について
梶山監事より12月28日に日本医師会から医療法の一部改正に伴う雛形、手順書等が公開されたとの報告があった。ホームページ上に公開されているわけではないが、インターネット上に公開されており誰でもアクセス可能なため、後日URL等情報をサイボウズにて連絡する。

III. 協議事項

1. 第9回理事会の議事録（案）の確認について

夏目庶務部長より第9回理事会の議事録（案）の確認依頼があり、修正などがあれば1週間程度をめどに庶務部長まで連絡することとし、全員一致で承認した。

2. 2019年度事業計画の骨子について

中根会長より2019年度愛臨技事業計画の骨子について提示があり、医療法の一部改正と各部門・地区活動の活性化、事務所移転に向けた検討開始の宣言が示された。

医療法の改正については、小規模病院・クリニック、登録衛生検査所が課題を抱えており、さらには臨床検査技師がいない歯科医院や助産院なども対象となっているため、どこまで手を広げてサポートできるかも含め愛臨技として事業展開を考えている。

各部門・地区活動の活性化についてはこれまで通り組織の強化を図り、臨床検査技師の職域拡大、学校と共催した中・高・大学の臨床検査技師を目指す人への事業展開、若手を中心とした医療人

としての人材育成等を考えている。

事務所移転について、現在の愛臨技事務所がある花車ビルが築 51 年、愛臨技購入後 25 年以上経過しており老朽化が進んでいる。技師会の事務所移転のための積立金が溜まってきた事や新たな事務所の検討に時間が必要となる事も考慮し、本理事会において事務所移転に向けての検討を進める事を宣言した。今後、総会等においても会員や技師会 OB へ説明をしていく。

提示された骨子について協議し、3 か年計画に入っていない新たな重点計画にあたる、医療法改正への対応と事務所移転に向けた検討の開始の 2 点について全員一致で承認した。

3. 一般検査研究班講演会の共催申請について

内田学術部長より一般検査研究班が 5 月に行う講演会における Amicus therapeutics 株式会社との共催依頼について承認依頼があり、資料をもとに内容を協議し全員一致で承認した。

承認に伴い、庶務より協賛依頼書の発行が依頼され、また、初めて共催する会社であるため、規約や講演会の予算書が必要となるため一般検査研究班へ依頼することとなった。

4. 第 68 回日本医学検査学会一般演題座長候補推薦について

内田学術部長より第 68 回日本医学検査学会一般演題座長候補推薦についての資料が提示された。学術班から選出された座長候補に加え学会参加予定の会長、副会長、理事が行うこととなり全員一致で承認した。内田学術部長がまとめ、夏目庶務部長から提出することとなった。

5. 第 68 回日本医学検査学会への演題登録について

菊地精度管理事業部長より 2019 年 5 月 18 日に開催される第 68 回日本医学検査学会への演題登録の承認依頼があった。登録締め切りが 12 月 25 日であったため事後承認となるが、提示された資料を確認し全員一致で承認した。

6. 元号変更に伴う愛臨技の対応について

武山広報部長より来年度の元号変更に伴う愛臨技の対応について協議依頼があった。まだ明らかになっていないことが多いため、公文書や指定雛形の文書等外部へ提出する文書は先方の動向を確認しながら従う事とし、らぼニュース内については愛臨技事業には西暦を使用し、愛臨技以外の事業に関しては、明らかな間違いを除き提出された文章のまま使用する事とした。

7. 県学会学会長、事務局長、実行委員長への日臨技事務権限付与について

柴田理事より学会運営上日臨技への登録等が必要となる場合があるため、学会長、事務局長、実行委員長への日臨技事務権限付与について協議依頼があった。今までは地区理事の権限を利用していた経緯があったが、その必要性について協議し、全員一致で承認した。

IV. 確認事項

1. らぼニュース 2 月号掲載内容について

武山広報部長よりらぼニュース 2 月号掲載内容の報告があった。

巻頭言 渉外部門活動について

地区だより (西三河)

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会・通信 (第 58 回)

上記に加え、日臨技主催平成 30 年度災害派遣技師研修会の報告、平成 30 年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会のお知らせ、医学会総 EXPO2019 市民展示のボランティア募集を掲載予定とすることを確認した。

地区だよりについて、次回以降の担当予定月を地区理事へサイボウズにて連絡することとなった。

2. 日臨技各賞受賞候補者の推薦について

中井副会長より日臨技各賞受賞候補者の推薦について、該当なしとして今回は見送ったことを確認した。

3. 「福見秀雄賞」「小島三郎記念技術賞」の推薦依頼について（中井副会長）
中井副会長より「福見秀雄賞」「小島三郎記念技術賞」の推薦依頼について、該当なしとして今回は見送ったことを確認した。
4. 平成 30 年度精度管理報告会来賓要請文書の文書発行について
菊地精度管理事業部長より平成 30 年度精度管理報告会来賓要請文書が提示され、内容について確認した。例年通りの内容であり特に問題がなかったため、庶務部から発行することとなった。
5. 平成 30 年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会のお知らせについて
菊地精度管理事業部長より、平成 30 年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会および特別講演会のらぼ原稿が提示され内容について確認した。
執行理事会にて当日に医療法の一部改正に関する相談ブースを開設する計画があり、この内容を案内に盛り込むことについて検討することとなり、決定次第らぼニュース 2 月号への掲載することとなった。

V. 連絡事項

- (1) 平成 30 年度受動喫煙防止対策研修会の開催について
中井副会長より平成 30 年度受動喫煙防止対策研修会の開催要領が提示され、参加依頼および会員への周知依頼があった。
- (2) 医学会総会 EXPO2019 市民展示について
和出理事より医学会総会 EXPO2019 市民展示のボランティア募集に関する連絡があった。提示された資料をもとに説明がありらぼニュースに掲載することとなった。また、1 月 29 日に開催される打ち合わせのメンバーの確認があった。ブースの外壁パネルポスターについて、働く検査技師の様子を寄せ集めた臨床検査技師の紹介パネルを考えており、写真の提供依頼があった。
- (3) 2019 年度事業計画書の作成について
夏目庶務部長より 2019 年度事業計画書の作成について、理事サイボウズに送付した 2018 年度の原稿を修正する形式で作成し、1 月 26 日までに提出するよう依頼があった。
3 月 31 日までに県に登録しなくてはなりませんので、2 月の理事会で承認、変更等あれば 3 月の理事会で最終承認とする予定。
- (4) 2018 年度事業報告の作成について
夏目庶務部長より 2018 年度事業報告の作成について、理事サイボウズに送付した原稿を順次修正しておりますが、内容を必ず確認するよう依頼があった。締切を 2 月 23 日までとしますが、同日に地区研修会が 2 地区予定されているため、終わり次第速やかに報告するよう依頼があった。
- (5) 石神会計部長より、今年度の会計書類提出について確認があった。各部門および地区の最終予定を確認し、それぞれの提出予定時期の確認をした。また、年度を跨ぐ行事に関しては対応を協議することとなった。

VI. 新入会審査

- (1) 4 名の新入会審査を行い、入会を全員一致で承認した。

平成 31 年 2 月 6 日

議 長：中根 生弥 

議事録署名人：梶山 広美 

山崎 正夫 

平成 30 年度第 11 回理事会 議事録

日 時：平成 31 年 2 月 6 日（水）18：30～21：00
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：今井
理事定数：21 名
出席理事数：20 名
議 長：中根 生弥
書 記：柴田 典子
議事録署名人：中根 生弥、梶山 広美、山崎 正夫

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

1 月 9 日 第 10 回理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、
佐野、和出、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事

1 月 16 日 都道府県ニューリーダー育成講習会準備会議

◎刑部、藤田、内田、武山

1 月 18 日 New Year パーティー2019

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、
佐野、和出、神野、今井、村瀬、中村、渡辺、梶山監事

1 月 21 日 第10回執行理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、石神、武山

1 月 23 日 スキルアップ研修会 第 4 回実行委員会

◎内田、岡田、鈴木、神野

1 月 28 日 プロモーション地区委員会

岡田、菊地

1 月 28 日 藤田医科大学 OSCE 検討会議

◎岡田、内田、刑部、鈴木、神野

1 月 29 日 日本医学会総会市民展示準備会議

◎和出、梶山、藤田、中井、内田、菊地、刑部、夏目、武山

1 月 30 日 第 2 回広報部会およびホームページ運営委員会合同会議

◎武山、藤田

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第10回執行理事会報告（中井副会長）

サイボウズに代わるグループウェアおよび平成31年度予算案については後の報告事項で報告する。その他は特になし。

また、中井副会長より理事会の報告について、議事録等の記録と共に報告すべきとのことで、今後、月単位で報告することとし、前月の行動報告をすることとした。

(2) 中根会長

1月8日 愛知県健康福祉部および愛知県医師会、愛知県病院協会へ新年の挨拶に訪問した。

1月12日 平成30年度中部圏支部臨床一般研修会にて開催県会長として挨拶に訪問した。

1月21日 愛知県臨床検査標準化協議会理事会・推進委員会に出席した。

1月21日 技師連盟に同行して、「酒井やすゆき議員」事務所を訪問した。

1月25日 「宮島よしふみ」政経セミナー・技師連盟総会および日臨技賀詞交換会に出席した。

1月26日 日臨技全国幹事会および支部学術部長会議に出席した。

(3) 中井副会長

1月8日 愛知県健康福祉部および愛知県医師会、愛知県病院協会へ新年の挨拶に訪問した。

(4) 岡田副会長

1月8日 愛知県健康福祉部および愛知県医師会、愛知県病院協会へ新年の挨拶に訪問した。

1月21日 愛知県臨床検査標準化協議会理事会・推進委員会に出席した。

1月21日 技師連盟に同行して、「酒井やすゆき議員」事務所を訪問した。

1月25日 「宮島よしふみ」政経セミナー・技師連盟総会および日臨技賀詞交換会に出席した。

1月28日 臨薬協プロモーション地区委員会に参加した。

(5) 藤田副会長

1月8日 愛知県健康福祉部および愛知県医師会、愛知県病院協会へ新年の挨拶に訪問した。

1月21日 愛知県臨床検査標準化協議会理事会・推進委員会に出席した。

1月21日 技師連盟に同行して、「酒井やすゆき議員」事務所を訪問した。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より災害共済金の申請の通知が日臨技よりあり、2件申請のうち1件はCランクとして共済金が支払われたと報告があった。もう1件は該当せず（住宅外の破損のため）。これらの通知は本人宛に日臨技から直接されているとのことであった。

松本祐之前役員より寄附の申し出があり、ウォーターサーバーの購入に充てたと報告された。

① 庶務部

1月9日 2月に開催される病理細胞検査研究班講演会の講師依頼状を発行し、発送した。

1月11日 3月に開催される精度管理調査報告会の来賓要請文書を発行し、発送した。

1月11日 第69回愛知県糖尿病療養指導研究会学術講演会のらぼニュースへの原稿掲載を広報部長に依頼した。

1月15日 3月に開催される平成30年度精度管理調査報告会の実務委員委嘱状を発行し、発送した。

1月18日 2月に開催されるスキルアップ研修会の共催趣意書を発行し、発送した。

1月18日 5月に開催される第68回日本医学検査学会（下関）座長候補推薦名簿をFAX

にて送付した。

1月18日 5月に開催される Amicus Therapeutics 株式会社と一般検査研究班講演会の共催申請の回答を発行し、発送した。

1月30日 中部大学松本祐之氏からの寄付申し出を受領した。

② 会計部

石神会計部長より、学術部、各地区の1月分会務報告書および会計執行状況について報告があり、年度末になり、概ね計画通りの執行状況となっているとのことであった。

第10回執行理事会に平成31年度予算案に基づく、収支予算書、収支予算内訳表を提示したので審議をお願いする。また、検体採取指定講習会が今年限りとのことであり、愛知県は受講率が高い方ではあるがまだ25%程度未受講者がいるので受講を勧めて欲しいとのことであった。また、日臨技から、新入会1名の入金と、研究班の推進事業に対する助成金および精度管理講習会の助成金の入金があったと報告された。

(2) 学術部門

① 学術部

内田学術部長よりスキルアップ研修会第4回実行委員会の開催報告があり、当日の内容、準備などについて最終確認を行ったとのことであった。また、1月28日 臨地実習前客観的評価試験(OSCE)検討会議を開催した。学術部研究班班長も出席し、担当メンバーを決定した後、大学側と具体的な活動内容等を検討する予定。

日臨技推進事業決算報告が承認され、生理機能検査研究班研究会、病理細胞検査班研究会、微生物研究班講演会、生物化学分析検査研究班講演会、生殖医学検査研究班研究会、遺伝子染色体検査研究班講演会に対する助成金が支払われた。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張北地区

1月16日 地区研修会を開催した。(参加：58名)

1月16日 第5回地区運営会議を開催した。(参加：13施設14名)

● 尾張東地区

1月19日 地区研修会(参加：60名、うち県内59名、県外1名)

1月25日 第5回地区運営会議を開催した。(参加：7施設8名)

● 尾張南地区

1月23日 第5回地区運営会議を開催した。(参加：8施設9名)

1月26日 地区研修会を開催した。(参加：61名)

1月26日 地区懇親会を開催した。(参加：5施設12名)

● 知多地区

1月24日 地区親睦会を開催した。(参加者：6施設36名)

1月26日 地区研修会を開催した。(参加者：82名)

1月26日 第6回地区運営会議地区運営会議を開催した。(参加者：7施設8名)

● 西三河地区

1月15日 第5回地区運営会議を開催した。(参加：12施設13名)

● 東三河地区

1月17日 第5回地区運営会議を開催した。(参加：10施設12名)

② 組織部

刑部組織部長より、1月18日 New Year パーティー2019 の開催報告があった。参加者数は226名であり、内訳は会員112名(男性76名、女性36名)、賛助会員114名(男性108名、女性6名)であった。なお、来年度も東天紅を予約(2020/1/17、金)した。また、2月17日同時開催する初級職能開発講習会には21名、ニューリーダー育成講習会には31名の申し込みがあったと報告があった。来年度の行事として4月21日(日)、フレッシュセミナーを予定している。

和出理事より1月29日 EXPO2019 打合せ会議の開催報告がされた。臨床検査協議会より企画内容、レイアウト変更の提案がされ、尿試験紙検査体験などを取り入れ、分野別、臓器別など分かりやすいようにレイアウト変更をした。また、らぼニュースに掲載した運営スタッフ募集に3名応募があったと報告があった。中根会長より毎日必ず執行部を含め愛臨技の役員がいる必要があるとのことで、理事、役員に対し、協力要請があった。

岡田副会長より各企画に対し参加者数を増やすにはどうしたら良いかとの質問があり、企画を如何に認知させるか、口伝えでの広報が重要であり、学術部、地区活動を利用した広報活動の充実など来年度の課題としましょう、とのことであった。

③ 広報部

1月4日 「らぼニュース No.442」(1月号)を3,500部発行した。

1月30日 第2回広報部およびホームページ運営委員会開催

2月1日 「らぼニュース No.443」(2月号)を3,500部発行した。

武山広報部長より、ホームページ運営委員会の報告があった。会誌らぼと県学会抄録集の合併については、学会実行委員会から提出されたPDFファイルをHPに掲載することとした。HPの運用マニュアル案を確認し、各研究班へ来年度配布予定。研究班より研究会のLive配信ができないかとの要望があり、検討中とのことであった。また、藤田副会長より70周年愛臨技設立記念誌のために画像の収集、保存の必要があるとのことで、現在HPにある画像をハードディスクとUSB等に保存しておくこととした。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

1月30日 第2回広報ホームページ運営委員会開催

ホームページ更新歴

12月24日 らぼニュース1月号、認知症講習会の予約掲載

12月25日 平成30年度全国「検査と健康展」、HIV風景の掲載

1月4日 地区研修会(尾張西、西三河)、管理運営研修会、カレンダーの掲載

1月5日 微生物検査研究班2月研究会、カレンダーの掲載

1月5日 輸血検査研究班2月研究会、カレンダーの掲載

1月7日 血液検査研究班2月研究会、カレンダーの掲載

1月10日 生物化学分析検査研究班2月研究会、カレンダーの掲載

1月13日 遺伝子・染色体検査研究班12月活动報告

1月13日 県学会バナー作成

1月19日 初級職能・ニューリーダー期限延長について

1月21日 一般検査研究班2月研究会、カレンダーの掲載

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より、1月21日 AiCCLS 平成30年度第2回理事会・推進委員会合同会議の開催報告がされた。H30年度事業報告とH31年度事業計画の報告をし、新規発行物である愛知県臨床検査値統一化ガイドライン「臨床化学」、リーフレット「分子標的薬について」と「微生物検査 腸管病原菌(4) Shigella」が承認された。中根会長より医療法の一部改正について相談会を開催したいとの意見があり、承認されたとのことであった。今年度は3月10日の精度管理調査報告会の前に法改正よろず相談会を開催する。

6. 第19回愛知県医学検査学会第5回実行委員会報告

1月11日 第5回実行委員会を開催した。(参加:7施設10名)

柴田理事より演題申し込みの協力依頼があった。演題申し込み締め切りが2月8日(金)、抄録登録締め切りが2月28日(木)まで。

7. 日臨技幹事会報告

中根会長より日臨技H31年度事業計画(案)について報告があった。多様なニーズに対応できる人材育成と業務体制を検討することが急務であり、制度管理事業、次期診療報酬改定に向けた取り組み、組織強化、学術技術振興、卒後教育などに重点を置く。愛臨技での具体的活動としては、検査と健康展、制度管理サポート事業、地域ニューリーダー実践講習会、ベッドサイド実践講習会、初級職能開発講習会などの開催をする。

8. その他の報告事項

(1) サイボウズに代わるグループウェアについて

サイボウズに近い Zoho connect を理事会メンバーで試用し、3月理事会で説明、その後学術部研究班などに順次対応することとした。武山広報部長よりサイボウズ上にあるファイル、データを各グループで保存しておくよう依頼があった。

(2) 自宅会員のらぼニュース送付先変更について

中井副会長より自宅会員の所属登録によって14名の送付先が職場に変更されたとの報告があった。

(3) 日臨技より技師養成校卒業生に配布する資料が送付された。

Ⅲ. 協議事項

1. 第10回理事会の議事録(案)の確認について

夏目庶務部長より第10回理事会の議事録(案)の確認依頼があった。修正があれば1週間程度をめぐり庶務部長まで連絡することとし、全員一致で承認した。

2. 平成31年度予算案(収支予算書、収支予算内訳表)について

石神会計部長より、平成31年度収支予算書、収支予算内訳表の説明があった。公益社団法人として適正な予算内容であり、全員一致でこれを承認した。

3. 平成31年度事業計画について

夏目庶務部長より、平成31年度事業計画について説明があった。内容を確認し、全員一致でこれを承認した。

4. 2019年度定時総会議案書について

夏目庶務部長より2019年度定時総会議案書について確認依頼があった。永年職務奨励者表彰に関し、愛臨技の表彰規定に該当するか再度確認し、見直すこととした。年度表記は西暦とし、今回出された修正点を修正し、3月の理事会で再度確認、承認することとした。

5. 平成 31 年度定時総会までのスケジュールについて
夏目庶務部長より 2019 年度定時総会までの日程について説明があり、必要事項の確認があった。
5 月の理事会は GW の関係で 8 日とした。会計監査、議案書発送日、総会出席票、委任状の提出締切日などの確認があり、その予定に合わせ 6 月の理事会は 1 週間遅らせて 12 日とすることが提案され、全員一致でこれを承認した。また、総会出席票、委任状の地区理事への提出締切を 6 月 10 日（月）とし、このスケジュールで実施することを全員一致で承認した。
6. 微生物研究班研究会でのアンケートを実施について
内田学術部長より微生物班長から 2 月の研究会でアンケートを実施したいとのことで、内容について審議の依頼があった。内容的に十分ではないため、単独で実施するのではなく愛臨技の精度管理調査内で実施すべきではないか、研究会での調査では信頼性が期待できないのではとの意見があり、アンケート目的も含め菊地精度管理事業部長、内田学術部長で微生物班班長に再度確認し、実施の可否については 2 名に一任することを全員一致で承認した。
7. その他
菊地精度管理部長より、3 月 2 日に開催する第 58 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会、第 338 回日本臨床化学会東海・北陸支部例会 連合大会の愛臨技 HP への掲載依頼があった。他団体の行事案内を掲載する方法について、武山広報部長よりバナーを作成し、リンクさせる方法の提案があり、これを全員一致で承認した。

IV. 新入会審査

- (1) 3 名の新入会審査を行い、入会を全員一致で承認した。

V. 確認事項

1. らばニュース 3 月号掲載内容について
武山広報部長よりらばニュース 3 月号掲載内容の報告があった。
巻頭言 日臨技報告（梶山監事）
災害派遣技師研修会に参加して
地区だより（尾張東）
AiCCLS（第 58 回）
上記に加え、NewYearParty 参加報告、血液検査研究班基礎講座、フレッシュセミナーの予定。
2. 2019 年度 JAMTQC 使用申請書について
菊地精度管理部長より使用申請書の確認依頼があり、夏目庶務部長から日臨技へ提出することとした。

VI. 連絡事項

1. 「平成 30 年度愛知県がん検診従事者講習会」の開催について
夏目庶務部長より「平成 30 年度愛知県がん検診従事者講習会」が案内された。
2. 臨床検査技師が実施する生理学的検査について（照会・回答）
夏目庶務部長より、日臨技より生理学的検査（耳鼻科領域）についての照会・回答が送付されたことが報告された。
3. HIV・TPHA 検査ボランティアのお願い
刑部組織部部長より各地区理事へ人選をお願いしたいとのことであった。
（4/14、4/28 は尾張北地区、5/12、5/26 は尾張東地区）。

4. “初級・職能開発講習会、都道府県ニューリーダー育成講習会、管理運営研修会”のスケジュール変更について
刑部組織部長より宮島会長の日程調整のため、講習会のタイムスケジュールの一部変更があり、受講者には案内などを一斉メールで配信するとの報告があった。
5. 平成31年度定時総会役員候補の選出について
夏目庶務部長より地区理事に対し、平成31年度定時総会役員候補の選出依頼があった。
3月理事会までに選出し、サイボウズにて報告することとした。

平成31年3月6日

議長：中根 生弥 

議事録署名人：梶山 広美 

山崎 正夫 

平成 30 年度第 12 回理事会 議事録

日 時：平成 31 年 3 月 6 日（水）18：30～21：00
場 所：公益社団法人愛知県臨床検査技師会事務所
出 席：中井、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、今井、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事
陪 席：なし
欠 席：中根、岡田
理事定数：21 名
出席理事数：19 名
議 長：藤田 孝
書 記：水野 義樹
議事録署名人：梶山 広美、山崎 正夫

はじめに

理事会運営規定第 3 章第 7 条により理事会の議長は会長がこれにあたるが、中根会長欠席のため第 7 条の 2 に従い出席した理事の中から選出し、藤田副会長に議長を委ねることを全員一致で承認した。

I. 成立宣言

出席役員が過半数を満たすことから議長が理事会の成立を宣言した。

II. 報告事項

1. 行事開催および役員行動報告

2 月 3 日 スキルアップ研修会

◎内田、中根、藤田、鈴木、神野

2 月 6 日 第 11 回理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、夏目、石神、内田、菊地、刑部、武山、柴田、鈴木、
佐野、和出、木下、神野、水野、村瀬、中村、渡辺、梶山監事、山崎監事

2 月 17 日 初級・職能開発講習会、都道府県ニューリーダー育成講習会、管理運営研修会

◎刑部、中根、中井、藤田、石神、内田、武山、柴田、今井、村瀬、渡辺、梶山監事

2 月 17 日 認知症対応能力向上研修会 B

◎岡田、鈴木、神野

2 月 27 日 執行理事会

◎中根、中井、岡田、藤田、梶山、和出、刑部

◎は責任者

2. 会長・副会長行動報告

(1) 第 11 回執行理事会報告

中井副会長より第 11 回執行理事会の内容について議事録をもとに以下の報告があった。サイボウズ office への移行について、現在のデータをサイボウズ office で閲覧するためには、一度データをダウンロードしてからアップロードする必要があるため、サイボウズ office への移行はせずに各部門で必要なファイルを 4 月 13 日までにダウンロードし、保管することとした。また、ダウンロードしたファイルの共有が必要な場合は、Zoho コネクにアップロードすることとした。3 月 20 日付で、西村事務員より退職届が提出され受理し、それに伴い事

務員の募集を行うこととした。第5回「山上の光賞」候補者推薦について、対象は80歳以上で現役で活躍の方と限られており、今年度は該当者なしとする予定だが、条件を満たす候補者がいた場合には推薦するよう依頼があった。四日市看護医療大学 看護医療学部 臨床検査学科設置への協力について、技師会に対しての要請内容が臨地実習などへの協力等無理のない範疇であったため、協力文書を発行することとした。地区懇親会の参加者への助成について、地区懇親会の参加者へ支給する補助金については、原則、地区の会員であることを資格とするが、同日に開催された研修会の講師が他地区の会員である場合は補助金を支給してもよい。クロネコDM便の値上げについて、他の郵送方法を検討するとともにヤマト運輸への交渉を行った結果、4月1日より引き続きクロネコDM便で120円/通にて会報誌等を送付することと決定した。引き続き各種送付物の送付先の見直しを行い経費節減に努めていく。地区研修会における講師および実務委員の日当・交通費について、各地区において地区研修会時の講師交通費、実務委員の日当・交通費について支給状況が異なるため、一律支給できるようにマニュアルの改訂を行うとの報告があった。

- (2) 中根会長
2月28日 衆議院議員 今枝総一郎君を励ます会に出席した。
- (3) 中井副会長
2月9日 日臨技中部圏支部臨床生理検査部門研修会の開講式に出席した。
- (4) 藤田副会長
2月2日 中根会長の代理として日臨技中部圏支部幹事会に出席した。

3. 各部門報告

(1) 総務部門

中井副会長より以下の報告があった。2月14日に東海地区2月期公益一般法人定例講座に石神会計部長、柴田理事が受講した。2月25日に3月20日付で西村事務員の退職願を受理した。

① 庶務部

- 2月1日 1月に開催された知多地区研修会の講師礼状を発行し、発送した。
- 2月4日 第30回日本医学会総会2019中部の市民展示「健康未来 EXPO2019」VIPプレビュー・レセプション・オープニングセレモニーの招待に出席の回答を送付した。
- 2月10日 日臨技にJAMTQC使用申請書をメールにて送付した。
- 2月12日 1月に開催された血液検査研究班基礎講座の講師礼状を発行し、発送した。
- 2月12日 2月に開催されたスキルアップ研修会の講師礼状を発行し、発送した。
- 2月18日 1月に開催された遺伝子染色体検査研究班研究会の講師礼状を発行し、発送した。
- 2月21日 5月に開催される Amicus Therapeutics 株式会社と一般検査研究班の共催申請書を送付し、発送した。

② 会計部

石神会計部長より、学術部、各地区の2月分会務報告書および会計執行状況について、学術部、各地区共に90%を超える執行率となっており、地区は本日残金の返金を予定しているとの報告があった。

(2) 学術部門

① 学術部

内田学術部長より、2月3日に行われた平成30年度愛臨技スキルアップ研修会および2月17日に行われた平成30年度認知症対応力向上講習会Bについて資料が提示され、それぞれ参加者数、収支、アンケート結果について報告があった。参加者内訳は、スキルアップ研修会が101名（内訳：愛知県会員76名、県外会員2名、実務委員13名、講師7名、医師1名、業者講師2名）、認知症対応力向上講習会Bが21名（内訳：受講者14名、実務委員7

名)、であった。認知症対応力向上講習会 B の収支に関して、収入総額 28,000 円に対して支出総額が 43,850 円であったため差額について確認を行うこととなった。2 月 28 日に日臨技推進事業決算報告が承認され、愛臨技へ助成金が生物化学分析検査研究班研究会、平成 30 年度愛臨技スキルアップ研修会で 50,000 円、血液検査研究班研究会は 40,000 円が支払われたとの報告があった。

② 精度管理事業部

菊地精度管理部長より平成30年度愛知県臨床検査精度管理調査費用未払い施設について、今年度の未払い施設はなかったとの報告があった。

(3) 渉外部門

① 各地区報告

● 尾張西地区

2 月 23 日 第 6 回地区運営会議を開催した。(参加：9 施設 10 名)

2 月 23 日 地区研修会を開催した。(参加：41 名)

● 尾張北地区

2 月 20 日 第 6 回地区運営会議を開催した。(参加：14 施設 15 名)

神野理事より、地区内の施設から各病院の所属地区、住所、電話、FAX の一覧を配布して欲しいと要望があったとの報告があったが、過去に個人情報保護等の観点から、施設及び会員一覧の発行を廃止した経緯があり、現在では各施設の情報をインターネットにてホームページから取得可能であるため、悪用されるデメリットを考慮し一覧は作成しないこととなった。

● 尾張南地区

2 月 20 日 第 6 回地区運営会議を開催した。(参加：5 施設 6 名)

● 西三河地区

2 月 23 日 第 6 回地区運営会議を開催した。(参加：11 施設 13 名)

2 月 23 日 地区研修会を開催した。(参加：66 名 うち会員 63 名、非会員 3 名)

2 月 23 日 地区懇親会を開催した。(参加：19 名)

中村理事より、地区内の施設から施設内の会員把握に関する要望があったとの報告があった。配布物が急に増減する場合があります、誰の分が増減したのかわからないため、変更があった場合に連絡が欲しいとのことであったが、愛臨技内にてすべての会員変更情報を把握し連絡することは数が多すぎて難しいとの判断であった。まずは、施設内での聞き取りによる把握に努めてもらうようお願いした。

● 東三河地区

2 月 21 日 第 6 回地区運営会議を開催した。(参加：8 施設 10 名)

② 組織部

刑部組織部長より、2 月 17 日に行われた“初級・職能開発講習会、都道府県ニューリーダー育成講習会、管理運営研修会”の各研修会について報告書の提示のもと開催および収支報告があった。各講習会の参加者数は、初級・職能開発講習会が 22 名、都道府県ニューリーダー育成講習会が 36 名、管理運営研修会が 49 名であった。

和出理事より EXPO2019 第 3 回実行委員会の内容について、議事録をもとに以下の報告があった。模擬採血体験について、実際の採血針の使用は控えるよう依頼があったため内容を一部変更した。ポスターについて、B 案を採用した。実務委員の担当日について、資料が提示され、都合が悪い場合は早急に申し出ることとなった。3 月 19 日に実務委員への説明会を予定しており、理事も参加対象とすることとなった。出席者はサイボウズにて返答し、委嘱状送付先および交通費申請書に委嘱状の要否および説明会と当日の交通費を記載することとなった。

③ 広報部

武山広報部長より、3月1日「らぼニュース No.444」(3月号)を3,500部発行したとの報告があった。愛臨技ホームページの来年度更新費用の支払いについて44,000円の請求が来ているとの報告があり、毎年行っている必要な更新であるため問題ないとの判断に至った。愛臨技内に残っている過去の写真データ等を保管するHDD購入に関して、購入予定の製品と価格を事前に報告し購入することとなった。

4. 各委員会報告

(1) ホームページ運営委員会報告

武山広報部長より、ホームページ更新歴について以下の報告があった。

- 1月29日 らぼニュース2月号、VCT事業、EXPO2019、精度管理報告会の掲載
- 1月30日 12月活動報告、2月研究会、カレンダーの掲載
- 2月1日 12月活動報告、来年度の活動予定
- 2月1日 県学会一般演題期限延長の掲載
- 2月5日 議事録の掲載、臨床検査パネル貸出の掲載
- 2月6日 学会外部団体バナー追加
- 2月11日 4月研究会の予約掲載
- 2月14日 HIVボランティア写真追加
- 2月18日 お詫び文(病理細胞検査研究班)の掲載

5. 愛知県臨床検査標準化協議会報告

佐野理事より、2月26日に開催したAiCCLS第4回実務委員会調整会議の開催報告があった。平成31年度会員募集案内送付について、会費未納施設および退会申し出施設合わせて5施設の送付を中止した。新規発刊物について、印刷会社2社に対し相見積もりをとり価格の安い印刷会社に依頼したとの報告があった。発行部数は各2000部とし、ガイドラインは1部500円、リーフレットは10部500円とした。発行物について、一般検査部門の尿定性検査の手引書を7月発刊に向けて作成中。3月10日に開催する医療法等の一部改正に伴うよろず相談会について、今回はアンケートとニーズ調査を主に行い、次年度以降に軟6回ほどのサポートと活動を行う方向となった。それに伴い、事業計画と予算案を作成することとなったとの報告があった。

6. 日臨技中部圏支部幹事会報告

藤田副会長より、2月2日に開催した日臨技中部圏支部幹事会について以下の報告があった。

- ・日本医学検査学会の開催予定について。
第68回(2019/5/18,19;下関市民会館他)、第69回(2020/4/25,26;仙台国際センター)、第70回(2021/5/15,16;福岡)開催予定。
- ・検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講率と2019年度の開催予定について。
受講率は2018年12月27日現在、富山58.8%、石川78.5%、岐阜82.1%、愛知76.1%、静岡64.4%、三重78.1%。2019年度は7月(石川担当)、9月(三重担当)、11月(静岡担当)の3回開催予定。
- ・認知症対応力向上講習会Bの開催について
2018年度は岐阜(7/29)、三重(10/13)、石川・福井合同(1/14)、富山(1/26)、愛知(2/17)に開催し、石川、福井は圏を跨いで合同で行った。
- ・都道府県ニューリーダー育成講習会の開催について
2018年度は富山(3/16)、岐阜(2/10)、静岡(8/18,12/8,9)、愛知(2/17)に開催し、静岡は2回開催した。
- ・初級・職能開発講習会の開催について
2018年度は岐阜と愛知が開催予定となっており、岐阜(4/22)、愛知(2/17)に開催した。
- ・多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会の開催について
2018年度は岐阜(9/29,30)、愛知(10/27,28)、石川(10/6,7)、三重(2/16,17)、静岡(1/12,13)富山(2/24)に開催した。富山の1日開催について、日臨技に確認したところ規定時間数を満

たされていれば1日でもよいとの返答があったため1日開催としたとの報告があった。

2019年度からは「ベッドサイド実践講習会」に名称変更となる。

・被災会員について

愛知県では、台風21号によりCランクの被災会員1名が認定された。

・中部圏支部医学検査学会の開催報告について

2018年度は三重県(11/24,25;三重県総合文化センター)が担当し、参加者は学生を含め869名だった。2019年度は岐阜県が担当で、10月12・13日長良川国際会議場にて開催予定。現在、精度管理報告会を3月に東京で行っているが、早い時期に各ブロックにて行う意見が出されており、来年度は中部圏支部医学検査学会と精度管理報告会の同時開催を検討中。

2020年度は富山県が担当で10月31・11月1日富山国際会議場にて開催予定。

Ⅲ. 協議事項

1. 第11回理事会の議事録(案)の確認について

夏目庶務部長より第11回理事会の議事録(案)の確認依頼があった。修正があれば1週間程度をめどに庶務部長まで連絡することとし、全員一致で承認した。

2. 平成31年度事業計画について

夏目庶務部長より、2019年定時総会議案書が提示され平成31年度事業計画の確認依頼があった。2月の理事会時に指摘された年号表記を西暦に統一したとの説明があり再度内容の確認を行い、研修会の記載順について開催日が時系列になるよう並べ替えることとした。修正があれば1週間程度をめどに庶務部長まで連絡することとした。また、学術奨励賞について、学術部が受賞者に論文作成の進行状況を確認することとなった。

3. 平成30年度事業報告について

夏目庶務部長より、2019年定時総会議案書が提示され平成30年度事業報告の確認依頼があった。内容の確認を行い、修正点について各理事より多数指摘があがった。スキルアップセミナーについて、愛知県に提出した名称を記載する必要があるため平成30年度事業報告はスキルアップセミナー、平成31年度事業計画はスキルアップ研修会とすることとした。修正があれば庶務部長まで連絡することとした。

4. 愛臨技から臨地実習前客観的評価(OSCE)検討会議に出席するメンバーについて

内田学術部長より、愛臨技からのOSCE実務委員選任について審議依頼があった。内田学術部長から候補者のリストが提示され全員一致で承認した。

5. 精度管理調査総括集の送付先について

中井副会長より、精度管理調査総括集の全国都道府県技師会へ送付取りやめについて審議依頼があった。ホームページからダウンロード可能であること、各都道府県から愛臨技への送付もすべてされているわけではないことから、全国都道府県技師会への送付をやめることを全員一致で承認した。

6. 後援名義使用依頼について

中井副会長より、第23回日本医業経営コンサルタント学会愛知大会の講演依頼について審議依頼があった。実施計画書が提示され、内容や過去の後援団体等を確認し、後援について全員一致で承認した。

7. その他

(1) 県学会実行委員の転勤による交代について

今井理事より、実務委員の抄録担当者が4月に転勤となることが判明し、後任の方との途中交代について審議依頼があった。後任の方は県外からの赴任となり、まだ愛臨技の会員ではないため、愛臨技会員となった後に理事会にて審議し、承認後に委嘱状を発行して実行委員とすることとなった。

- (2) 第 58 回中部圏支部学会のシンポジスト選出について
内田学術部長より、第 58 回中部圏支部学会のシンポジスト選出について審議依頼があった。岐阜県技師会より、愛知県から 1 名の選出依頼があり、シンポジウムの企画内容を考慮し他県から選出していく、検査領域ではない認定資格所有者を選出する方向で学術部、各地区、各理事から推薦し内田学術部長へ連絡することとした。承認については、返答の期限があるため執行理事会に一任することとなった。
- (3) 中井規隆氏のサイボウス追加申請について
中井副会長より、EXPO2019 において中井規隆氏へ連絡担当役を依頼したことに伴い、内容把握や情報共有を目的としたサイボウスへの参加登録について審議依頼があり、全員一致で承認した。

IV. 新入会審査

- (1) 3 名の新入会審査を行い、入会を全員一致で承認した。

V. 確認事項

1. 平成 30 年度精度管理調査総括集送付案内文について
菊地精度管理部長より、平成 30 年度精度管理調査総括集送付案内文について確認依頼があり、問題なく発行することとなった。
2. 2019 年度新人サポート研修会のらぼ原稿掲載について
内田学術部長より、2019 年度新人サポート研修会のらぼ原稿について確認依頼があった。検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の案内に関する内容は今回からなしとすることとし、年号表記を西暦に変更して 4 月号らぼニュースへ掲載することとなった。
3. 2019 年度世界禁煙デーボランティア募集
刑部組織部長より 2019 年度世界禁煙デーボランティア募集に関するらぼ原稿について確認依頼があった。正式な日程の報告が愛知県から来ていないが、案内掲載の都合上予定として記載しているが、例年この形式のため予定として 4 月号らぼニュースへ掲載することとなった。
4. 「愛臨技臨床検査技師会 特別研修会」開催について
中井副会長より、愛臨技特別研修会開催について参加動員依頼と当日の実務委員担当依頼があった。実務委員は総務部門と組織部門で協力しておこない、受付は 18:30 からとなった。案内は 4 月号らぼニュースへ掲載することとなった。
5. 改元に伴う各種文書における年号表記と愛臨技發文書番号表記について
中井副会長より改元に伴う各種文書における年号表記と愛臨技發文書番号表記について以下の確認依頼があった。
 - ・ 愛臨技發文書の発出日は行政文書作成要領に基づき元号表記とする。
例) 01 愛臨技発第〇〇号
新元号元年 6 月 1 日
 - ・ らぼニュースで「期日や期間を表示する日付」は西暦とする。
 - ・ 行事名(「〇〇年度 〇〇研究会」など)については元号、西暦どちらでも可とする。
今年に限り併記も可(通例で元号年度を行事名に使用している場合があるため)
(内閣府の見解で、2019 年度に関しては、平成 31 年度と新元号元年度が併記される可能性はありと書かれていたり、新元号の期間が長いので新元号元年度となると書かれているものもある。
どちらも間違いではない。)
 - ・ 領収書は税理上、元号でも西暦でも可なので、原則、西暦とする。

6. らぼニュース 4月号掲載内容について
武山広報部長よりらぼニュース 4号掲載内容の報告があった。
巻頭言 新年度を迎えるにあたって（中根会長）
スキルアップ研修会に参加して
地区だより（東三河）
AiCCLS（第59回）
上記に加え、初級・職能開発講習会、都道府県ニューリーダー育成講習会、管理運営研修会の参加報告、新人サポート研修会開催案内、世界禁煙デーボランティア募集、特別研修会案内を掲載予定。
7. 2019年度定時総会について
夏目庶務部長より、2019年度定時総会の日程表と総会役員候補資料が提示され確認をおこなった。
8. 病理細胞研究会の受付PC不具合について
鈴木理事より、出席者のうち残り4名の方が未だ不明のため各施設への確認を依頼された。

平成31年4月3日

議長：藤田 孝



議事録署名人：梶山 広美



議事録署名人：山崎 正夫

